京城日報

（年中無休刊）

本紙定價　一部金四錢▲郵稅金五厘　壹ヶ月金壹圓▲郵稅金拾三錢　三ヶ月同三圓▲六ヶ月同六圓　一ヶ年同拾貳圓▲郵券代用一割增

廣告料金　五號十四字詰一行一圓五十錢　同特別二號二字詰同三圓▲二號七字詰同二圓▲四號九字詰同一圓▲六號十六字詰金一圓

發行兼編輯人　奥田直　印刷人　小川三之介

發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社　電話番號長六千九番　長六千九番　振替京城三〇〇〇二番

十一月二十一日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

ウ氏苦痛去る

華盛頓來電＝大統領附醫師の發表せる容態書に依ればウイルソン氏は能く睡眠し苦痛も大いに除去せられたり（倫敦電報）

ハーゼ危篤に瀕す

獨逸少數社會黨首領ハーゼは尿毒症の爲め昏睡狀態に陷り生命危篤なりと報ぜらる（倫敦電報）

外蒙古自治取消

外蒙古王等は一度自治を宣言せるも今回北京政府に對し自治取消を正式に申込み來れり（北京電報）

支那新聞寂寞
山東修正案否決の結果

米國上院に於ける山東修正案否決となりたる結果支那新聞の山東問題評論は俄に寂寞となれり（北京電報）

露紙幣受入拒絶
東清鐵道廳の局限

東清鐵道は露暦十一月一日貨客運賃としてロマノフ紙幣ホルワット紙幣及び米國製新紙幣をのみ受け入れケレンスキー紙幣及西伯利紙幣赤札の受入れを謝絶する事に内定せる由、本件は新紙幣發行か赤札と一切關係なく發行さるるか又は赤札と交換に發行さるるかにより其の影響甚大なるを以て目下各方面とも考究中なり、尚ほ目下ケレンスキー紙幣暴落し西伯利紙幣騰貴しつゝあるが右は米國製新紙幣をロマノフ札と同樣に發行したき希望に關係あるもの、如し（哈爾賓電報）

證券卅億留發行
オムスク經濟會議裁定

オムスク發電＝國立經濟會議は五分利子附新國庫證券卅億留發行に關する大藏省法律案を裁定せり額面現在の通りなり（哈爾賓電報）

暴利取締令實行と當局方針

暴利取締令實行に就き某當局は語る『綿絲、綿布の騰騰は下流階級の生活に多大の打擊を與へ居れるが之が騰騰の原因は米國に於ける棉花の不作其の他種々あるべきも製品大買占の噂もあり聞く所に依れば大阪方面は買占の中心にて東京方面にも絶無とは云ふべからず若し實際に於て斯く人爲的に騰騰せしめ居るものとせば之を取締るの要あるに依り警視廳にては農商務省其他とも協議し目下取調中なるが暴利取締令に觸るもの、外或は取引所法違反者も少からざるやも知れず』云々（東京電報）

外米賣出好況

政府の第五回外米賣出しは十八日東京大阪神戸長崎門司の五箇所にて總計十五萬石の賣出しを開始せしが賣出價格多少高値に失するも品質頗る優良なるより東京を除く四箇所に於ては十八日中に殆んど全部賣切れとなりたる程の好況を呈せり而して東京は十八日五萬八千石の賣行を示したるが十九日は申込者漸の姿にて結局一萬四千石の賣殘りを見るに至りたり右は格安の第六回賣出を氣構へたる結果なるべし（東京特電）

外米代用撤廢

政府は愈々外米期を十二月限り撤廢することに決したるものの如く二十一日頃發表せらるべし（東京電報）

日銀帳尻

十月十八日の日本銀行帳尻左の如し（東京電報）

發行高　一、〇九六、一八三千圓
限外發行　一七三、〇六三
貸出高　三四六、五六八

發行高は前月に比し七百六十五萬圓增なり

大連市長選擧延期

廿日午前九時大連市長選擧執行の筈なりしも延期說勝を制し遂に無期延期となりたり（大連特電）

新任李王職贊侍　韓昌洙男

新任李王職長官　李載克男

總督總監見舞

齋藤總督水野政務總監は寺內伯危篤の報に接し二十日鄭重なる見舞の電報を發したり

判任官以昇給

總督府及所屬官署各判任官以下の昇級は十八日附を以て辭令を交付せられたるが昇級者は一般に下級者に多く上級者は殆ど之の關係上詮議洩れとなりたり而して五十圓以下の判任官及び雇員は殆ご全部昇級し去る六月既に昇級せる者をも含み又手腕如何に依りては抜擢昇進を見たる者もあり官吏昇級としては異數の現象なり其人員は總督府本府のみにて約二百人各道は道知事に銓衡を委任せる結果道に依りて同一ならざるも約三分の一の昇級者を有し一人の俸給平均十二三圓の增額を見たり又雇員の昇級も同時に全部に亘りて行はれ一人宛年額二百圓を增俸せられたりと

看守取締給與

朝鮮人たる看守及び女監取締の給與に就ては奏任官及判任待遇監獄職員給與令に準用する旨の府令は十八日附官報號外を以て二十二日發布さるべし

局部長會議

二十一日午前十時半より總督府第一會議室に於て局部長會議を開き齋藤總督を始め各局部長並に所屬官署長參集諸般政務に就き審議する所ありたり

金融組合長會議

二十一日午前十時より京畿道會議室に於て管內金融組合長會議開催左記工藤知事の訓示あり終つて旱魃被害の狀況及び組合員の救濟等の諮問事項に對する組合長の答申ありて散會せり

工藤知事訓示

本道の金融組合は明治四十年十月水原に創始せられてより茲に星霜歲月を逐て各地に增設せられ今や管內を通じて其の數三十有九組合員正に一萬五千を超ゆ既往地方財界に貢獻したる所甚大にして將來復た倍々良好を加へむとするの機運に在るは蓋し名譽職たる組合長以下役員諸氏の勵精與りて力ありしに由るへく本官深く其の勞を多とし且つ其の滿足を頒つ所なり

凡そ事業の成敗利鈍は其の經營機關の能力如何に因りて岐るる組合長以下役職員は組合經營の主動機關たり是等機關にして能く其の任に適し克く其の務に從ひ發奮精勵以て有終の美を濟すことを得は單り組合及組合員の福たるのみならず延て地方に於ける產業の開發經濟の進展期して俟つへきものあるを確信す

組合の業務區域は廣汎にして其の包擁する組合員亦多數なり多數組合員の指導訓練は主として名譽職員の識力啓發に待つもの多し然るに組合業務の現狀を觀るに概ね理事の專行に委し組合長、監事、評議員諸氏の干與極めて渺きか如し茲を以て役員努力の厚薄に由り其の實蹟に等差を來し未た一齊に良好の域に達せさるもの、あるは頗る遺憾とする所なり組合業務の消長は役職員の双肩に懸れり宜しく全員協心戮力組合の爲に盡し殊に組合名譽職に在る諸氏は高遠なる組合の趣旨と重要なる自家の職責とを體し以て其の大成を期する自覺あることを要す

組合法規改正に伴ひ諸種の制限は撤廢せられ組合業務は著しく擴大せられたるのみならす本道亦旣設以外須要地點を相し組合增設の企劃あり管內の金融網は愈緻密を加へむとす組合長以下の役員は此の機運に順應し或は組合員の增募に或は貯蓄の吸收に或は資金運轉の妙用に各組合其の地方の實情に適する方針に則り鋭意業務の發達を圖め兼て組合員經濟の向上を企圖し內は率先躬行自ら生業に勵み克く元氣を節して其の產を治め外は組合員を扶掖誘導して各自其の生計を作興し以て各自其の安固を加へさるへからす本年稀有の旱魃に遭ひ管內亦不幸天惠厚からさりし地方なしとせす此の秋に際し地方の先覺者たる組合名譽職に在る各位は各其の職責の命する所に循ひ一致協同力を極めて組合機能を發揮し洽く組合の惠澤に浴せしめ一は以て組合業務の進展に努め一は以て地方民衆の經濟の發達を促し延て地方民衆の福祉に裨益する所あるへし

平壤無煙炭完全燃燒成功
在米成田遞信技師より朝鮮電興會社に入電

朝鮮電氣興業會社にては平壤無煙炭の完全燃燒（燃燒力增大）に付米國出張中の同社囑託成田遞信技師に依頼し技師の努力によりて米國工場にて今春來研究中なりし無煙炭七十噸の試驗中也しが十九日成田技師より『平壤無煙炭の完全燃燒工場試驗滿足に成功したり今後弊方發電作業に對しては安心して之を適用して可なり』と會社に入電あり同社としては發電事業に於ても事業上の一大福音と云ひ得べく又同社の發明に係る煉炭製造上に於ても特種製法（ピッチ代用）の試驗は目下繼續中なるが成功の見込十分にて會社事業として前途光明を認めたりと云ひ得べし

支配人辭せず

同社風間事務は經營上米山專務等と意見の衝突あり專務を辭したる由の既報の如きが伊東支配人の辭職はその後諸種の事情上沙汰止みとなりたる由

五州輕鐵創立

湖南線方面の輕鐵敷設權を獲得せる五州輕鐵株式會社は神戶鈴木商店主となり諸種調査中の所愈々年內に會社の創立を進むる事に決定したる旨二十日鈴木京城支店支配人小山庄三氏の許に入電あり尚ほ會社は資本金六百萬圓にて許可を得居れるも直ちに增資の必要ある由

新任李王職長官贊侍閱歷

李載克男

前の從一品崇祿大夫勳一等李載克氏は前坪大君潤昭武原君の十四代の孫正二品嘉善大夫禮曹判書貞公鴻應の子にして明治元年十一月六日東部蓮花坊黃橋に生る、家庭に受學し明治十二年童蒙敎官を拜し文科の試に應じ遂に入りて登第し假注書と爲り後大院君に知られ重厚質實の風あるを愛せられ明治二十八年秘書院右秘書郎王太子宮侍講官に陞り奎章院校書を經て六品に進み奎章閣直學士を經て從二品に陞り洪陵參奉秘書院丞に任ぜられ中樞院二等議官侍從院副侍講學士を經て宮內府特進官、宮內府協辦となり奉常司提調侍講院副詹事を經て宮內府大臣となり正一品に陞り更に內部大臣に陞せられ議政府參贊を經て京畿道觀察使と爲り卿大臣となり正一品に陞り平理院裁判長を兼ね學部大臣に移り日本國から勳一等旭日大綬章を授けられ敍勳一等太極章に叙せられ日本天皇陛下より勳一等旭日大綬章を授けらる、一品に陞り特に宮內府大臣に任ぜられ景孝殿提調修學院長、判敦寧司事等を拜し宮內大臣に任ぜられ直ちに表勳院總裁に轉ず爲人恭謹にして柔和寬厚の風あり其の門地既に高く顯職を拜する事又斯の如し明治四十三年特旨を以て男爵を授けらる

韓昌洙男

朝鮮總督府中樞院贊議前の正二品韓昌洙氏は文久二年一月十九日京城北部壯洞に生る家庭に受學し後立身して羅多の官職を奉す明治四十一年十月今上天皇陛下皇太子殿下にましまする際韓國に渡航の折勳二等瑞寶章を賜り明治四十二年一月五日韓國皇帝南巡の時に陪從し功勞勳一等太極章に特叙せられ二月五日西巡幸の際陪從官一同に對する慰勞の爲め內閣總理大臣李完用氏に隨行を命ぜられ二月五日御召により金時計一箇を賜はり二月十八日勳一等八卦章に陞り九月日本皇太子殿下御渡韓記念章を賜はり十二月二十七日事務特別勉勵の廉を以て內閣より金一千圓を給與せらる四十三年六月韓國に派遣中なる伊藤公爵の葬儀に御參列の爲め宮內府より日本に派遣せられ同年八月日本に渡り御參列の際には內閣書記官長として事務取扱を命ぜられたり

殖鐵應募熱狂
大口申込多し

二十二日を以て締切るべき西鮮殖產鐵道株式の公募は既報の如く三菱東拓の關係事業なる事政府補給ある事業地の富源無限なる事浮動株少き事その他の强材料多く近來の有望株なるを以て市中の申込も殆ど熱狂狀態を示し居れるが各銀行にては會社發起人の意向をも付し絕對に振替勘定の申込を避け居れるため此種の應募にて濫りに株數を增加せしむる如き事なきも然も市中二三銀行の觀測は何れも一行にて十萬株を超ゆべしと云ふに一致し居れば明日の締切にて京城のみの應募少くも二十倍に達し從來株式公募の新記錄を作るべしと稱せられつゝあり尚ほ發起人側は成るべく投機的大口の申込みを避け堅實筋の應募を歡迎するらしきも二十二日には余程大口の應募ある模樣につき結局著しき超過を示すべきか尚ほ二十一日までの所京城の應募は小口のみにて株數三萬五千に達したりと

金剛電鐵實測

金剛山電氣鐵道會社にては事業の着手をなす必要上過般株式の公募を了し遠からず第一回拂込みを徵し會社の創立をなすべき處發電水力地並に發電線の實測をなす事となり技師長岡田竹五郎氏は數日前來城各方面を踏査中の所二十一日發電豫定地たる化川に向ひたり尚ほその工事着手は直ちに結氷期に入るを以て明年ならん

政務總監東上

水野政務總監は中央政府と事務打合せ及び來年度總督府豫算事務に關する用務を帶び夫人同伴二十一日午前十時南大門驛發列車にて東上せるが驛頭には總督府各局長官房職員兒島憲兵隊司令官工藤京畿道知事田中李王職事務官及び婦人連の見送りあり赤池警務局長千葉京畿道第三部長牧山代議士大垣丈夫氏等は途中迄見送れり

張國威氏挨拶

京城駐在中華民國總領事王鴻年氏歸國中臨時總領事代理を命ぜられたる仁川駐在領事張國威氏は二十日午後總督府に齋藤總督松永外事課長其他を歷訪し就任挨拶を爲したり

財界閑話

京城財界の一勢力たりし高野省三君も天津の三井物產支店長として兩三日中に赴任する事となつた▲京城在住前後五年の永きに及んで居るが君は『過去に於て京城生活の如き意味あり興趣ある生活はなかつた恐らく今後もないであらう古い言葉だが去るに忍びないやうな離愁を感ずる』と云つてゐる▲財界の頭株として君の活動の範圍の人が知つてゐる居常非常に多忙でなく各方面に盡した功績は多くなりしに拘はらずよく色々の面倒も見てゐた。君の大に力を盡した財界の事で表面に現はれぬつまり縁の下の力持ちをなつた事も少くない▲單り財界のみならず運動界のためにも又花柳界……主として體道の意味に於て……のためにもよく盡してある、而してその世話好きの性格は友人や部下や知己の色々面倒な見色々な忠告や意見をも立て四六時中活動を續けてゐた。資産を有して居る故でもあるが運動界などのためにはよく私費を惜しまず出してゐたさうで君を失つた京城の體育協會は非常な打擊だ。然し運動熱心家はコボしてゐる▲君はその極めて多忙なりしに拘はらずいつの間にかよく新聞を讀み雜誌に目を曝らし海外の情報を頭に叩き込み財界の問題は大きく世界的に解釋して意見を立つる人である▲支那の不穩な天津に轉じては働らき榮えもしやう折角健康を祈る

四高會秋期大會

來る廿六日は四高記念日に相當するを以て同日午後六時より花月に於て四高會秋期大會を開催する由につき同校出身者の出席を希望すと

正誤申込

拜啓陳者十月二十日發刊の貴紙上『朝鮮電興内訌』と題し風間事務及伊東支配人辭表提出の由記載有之候處右記事中▲印伊東支配人辭表提出の件は全く事實無根にして同氏は從來の如く職務に從事致居候處當方の都合に依り事務取締役に就き單に取締役として留任せる事と相成り候に就ては全く事實無根に付正誤相成度此段得貴意候也十月二十日朝鮮電氣興業株式會社京城日報社編輯局御中

人事消息

▲杉山五郎氏（關東廳事務總長）二十一日朝入城天眞樓へ
▲梅野實氏（朝鮮三菱製鐵所長）同上
▲酒井三郎氏（同技師）同上
▲本木房吉氏（辯護士）二十八日大邱釜山へ
▲ボーター氏（奉天駐在英國總領事）過般來京中の處二十二日頃朝鮮經由內地へ直行の筈
▲中西滿鐵副社長夫妻　二十一日午前十時京城發列車にて北行し途中京城に一泊の筈（釜山特電）
▲佐々木慶南知事　京城に於ける道知事會議よりの歸途十九日夜來釜防疫事務道路問題等の爲め尚一兩日滯在の筈（釜山特電）
▲岡田竹五郎氏（金剛山電鐵技師長）二十一日退城

懸賞川柳（十四）
劍花坊先生選

美人

筒井筒添へ言譯はきれい過ぎ　永登浦　露園子
縁遠のきは小町のきれい過ぎ　全州　四氣郎
火葬場で今燒けてゐる村小町
美くしい人身御供で親に飲み
美しい妓が一人をかしましい　龍山　雨ン尺
骨も無い樣に美人の膝へ癡る
美人ちうものは惡魔と紺飛白

其の日

◇露都陷落、連戰破竹の勢ひを以て進みつゝありし、ユーデニッチの西北軍は、リガを占領するや、一路急進ペトログラードに迫り、遂に之を陷落せしめたり。而して莫斯科に向つて肉迫しつゝあるデニキン軍亦、猖獗にして莫斯科將に震駭す、トロツキー募兵を徹するも、世は冷笑して應ずる者無く、遂に彼をして過激派末路の慨嘆を禁ぜざらしむるに至る。過激派放逐後の露國は奈何、此の問題は過激派橫暴以上の大問題ならざるか。

◇露國を放棄したりとて過激派が直ちに全滅し、滅亡すると思ふは誤り也。彼等の思想は今や全世界に蔓延す、露國過激派の滅亡は、唯其本家を失ひたるのみ也、彼等の危險思想は依然として、隨所に出沒すべく、差當り其最も災害を被る國は何れか。

◇見よ、英、佛、米、獨何れか過激派思想の傳染を受けざるものあらんや、殊に米國の如きは、其勢力恐るべきものあるが如し、吾人は益々守備を堅うして、苟くも斯る思想は一步たりとも、我領土內に侵入するを防がざるべからず。決して油斷すべきに非ざる也。

◇廣東政府は遂に孫文、陸榮廷等の脫退を見、今又總裁唐繼堯の辭職を見る。此調子にて進めば支那は南北妥協の前に、先づ以て南々妥成を計らざるべからず。北方亦然り、北々協調を必要とせん、內輪喧嘩と、喧嘩を重ねる內に何時の間にか一致する考へならんか。

◇昨年全世界を震闘戰慄せしめたる、世界感冒、今年も又候そろ／＼襲來せんとするが如し、最早其猛威には何人も恐れざるなし、今より御要心あつて然るべし。

立木賣却
一、松　貳參壹九本　尺締貳四七
一、櫟及雜木　壹七壹本　同　貳五
アカシヤ　壹〇、五〇〇本　徑壹寸位（苗木參四年位）
右孝昌園內立木ニシテ現場下見十一月三日（當局ニ於テ現場案內ス）
右競爭入札ニ依リ賣却ス御希望ノ方ハ十一月五日午後二時迄ニ入札相成度
但入札保證金ハ各自見積金高拾分ノ一以上（圓未滿切捨ノ事）入札心得其他總テ經理課ニ於テ承合ノコト
大正八年十月廿日
南滿洲鐵道株式會社　京城管理局

自動車
開祖東洋第一番の本校卒業生は都會と海外に活動す
運轉手技師販賣員募集　甲種運轉手養成　毎月授業開始　其他技師科設計科
成功責任校外生募集　各科共　學卒無試驗何人も入學許可　校則送
東京京橋南紺屋町　東京自動車學校
大阪市市岡町　大阪自動車學校
福岡市中島町　福岡自動車講習所
京城府黃金町　京城自動車講習所

宇治　茶　自園
定價表御申越次第早速進呈致候　但特約賣捌店御希望の方には特に御相談仕候間御一報被下度候
京都市柳馬場綾小路南入　美濃部降福堂　電話下一八八二　振替大阪五一六七　方地係

公債株式現物賣買　證券担保之金融信託　工業藥品理化學器械　滿洲製紙會社特約店
龍　開灤商會
大連信託株式會社同業組合員　滿洲證券現物市場仲買
大連市若狹町一三　電話長一七九八番　振替大連二一〇二番

最新刊
八年九月現在　全鮮銀行會社職員錄　定價八五　送料六

書名	著者	定價	送料
日本改造の意義及綱要		一、三〇	一二
鄉愁	加藤武雄	一、五〇	八
金になる土の話	秋本	一、〇〇	八
螢光石火	菅厚	一、五〇	六
人格と修養	井上	五〇	八
勞働者問題		定價一、八〇	送料八
露西亞の秘密結社		一、七〇	八
獅林文藝史論	上村	三、五〇	一二
羅論七年	板垣退助	二、五〇	八
和譯聊齋志異	柴田	二、二〇	八
社會悲劇號	婦人公論社	六〇	二
浪六著　裏と表		定價一圓八十錢	送料十貳錢
品性	大島友直	一、八〇	八
朝鮮大地圖		折特價二、五〇　軸特價四、〇〇	送料折六　軸實費
救急法	總督府編	三五	四

京城本町一丁目　大阪屋號　電話六四二番　振替京城二五七番

瓶類　京城古市町電話一七四六
主　畑兄弟　硝子工場
第一工場　特製人蔘エキス瓶…に限る
其他一般の御注文に可應候

重要記錄に安心して使へる最新式の耐久インキ
萬年筆用　帳簿記入用　證券用
一手販賣元　中山太陽堂　文具部

株式投資要解　無代進呈
物價の騰貴は世界の大勢で、現時の物價は之を大正三年に比すれば約三倍に當る。大正三年に其元金一百圓の郵便貯金は今年其利子と共に百貳拾四圓九錢となる、大正三年に百圓で米六石貳斗を買入れたが、今年百貳拾四圓九錢で貳石壹斗より購ふ事が出來ない、さうすれば資金は利殖どころか誠に損しつゝあると言はねばならぬ。吾人の資金は少くとも年貳割五分以上の利殖を計らねば財產は消滅しつゝあると同樣である。今絕對に損失なく、最も安全に而かも合理的に株式投資により最高利殖能率を發揮しつゝある現實の方法を說明したる本書を此新聞名御記入の上ハガキ御申込の方に直ちに贈呈します

東洋特許醬油株式會社株式提供
東洋特許醬油株式會社は四年前より東京特許醬油合資會社として營業し來り其の成績頗る佳良なりし爲め先般之れを貳百萬圓の株式會社となし營業全部を繼承したるものなり。食料品問題の喧しき今日に於て、最も時勢に適合したる、最も前途有望なる投資物として本株式を推奨す、工場を千葉縣及愛知縣の兩面に有し盛に醸造しつゝあり。製品は農商務大臣の特許品にして、內務省衛生試驗所の分析によれば澱粉、糊酸、及窒素物の豐富なる、他に其比を見ざる所にして、滋養、甘味及デアスターゼ含有の關係上消化を助くるの効頗る多く、其品質の優良なるは世既に定評あり
配當安全　現在の醸造額は年五萬石に過ぎざるも、優に年四割の配當をなし得べく目下設備中の十萬石醸造をなす近々にあれば絶大なる利益配當をなし得るに至るべし（詳細なる說明書及定款はハガキにて御申越次第送付す）
提供——一株數　貳千株　一價格　壹株に付金拾七圓五拾錢（拾貳圓五拾錢拂込濟）
要項——一申込單位　拾株以上　一申込證據金　一株に付　金參圓
大阪市北濱株式取引所正門前　日本證券利殖合資會社　本局三貳〇八番三四一九番　振替口座　大阪四七四四七番

からし漬の時季は今!!
何れの御家庭にも至極重寶です　是非一度は自慢自慢の
勢共からし
を御使ひ下さい！
辛味豐富にしてアク拔の手數を要せず其儘で御使用が出來ますから便利です

乾物問屋　大阪市北區天滿市ノ側　黑川與兵衛商店　電話長東二六四二番

寺伯蘇生す

本邸にて薨去を否認

依然危篤の狀態なるは事實

既電の如く一時寺內伯の薨去を傳へられ東京各通信各夕刊新聞何れも之を掲載せるが麻布の本邸にては伯の薨去を否認し午後四時容態書を發表し脈搏觸れ難しとあれば依然危篤の狀態に在るは事實なるが如し（二十日午後八時東京發特電）

別報　廿日午前十一時全く薨去を傳へられたる寺內伯は平井博士最後の手當により蘇生せり（本社來別電）

◆寺內伯の二十日午後五時三十分の容態にては同夜中は異變なからんも結局六ヶ敷からん（本社著別電）

◆寺內伯は昨日午後一時脈搏絶ゑしも注射の結果同二時頃僅に蘇生し微弱なる脈搏を復活せるも其の容態は殆ど絶望なり（二十一日午前三時）

◆寺內伯は一時假死の狀態に入り各方面に薨去の電報を發したるも依然重態に在り（東京至急電報）

不思議にも容態持直す

元帥刀傳達の時

見よ悲壯にも亦夢幻的氣分に充ちし其光景を

寺內元帥は十九日に入りて容態危篤となり同夜は主治醫平井博士詰め切り同夜より二十日午前中は昏々として假睡狀態に陷り危險の裡に彷徨し絶望を傳へられ正午急電に接し千葉縣下の演習地より歸り來れる嗣子壽一大佐が病室に挨拶をなせるに幽かに眼を開き頷きたるが此頃より稍容態を持直し午後四時特に此日を以て賜りたる元帥刀の傳達式ある頃不思議にも意識明瞭となり並居る人々の愁眉を開かしめたり即ち同刻刻には東京より來邸せる田中陸相坪井少佐の齎せる元帥刀を捧げ一門の人々は羽織袴にて病床の左右に居並びて之を迎へ陸相は恭しく金色燦爛たる元帥刀を木の香床しき白木の箱より取り出し伯の枕頭なる刀掛に掛けて大元帥陛下の御優詔を奉讀すれば深く昏睡狀態にありし伯は不思議にも閉ざせる瞳を開き恭しく頷き　天恩の辱けなきを拜受して感激せる如く見受けられたり　枕頭には壽一大佐毅雄中尉の二令息兒玉伯夫妻兒玉恕忠氏等詰め切り此の模樣にては二十日は異變なかる可しと安心の體なり（二十日午後十時發東京特電）

容態

二十日午後　アイスクリームを攝取

二十日午後四時發表寺內伯容態左の如し（大磯特電）

廿日午後三時卅分診察今朝昏睡狀態にあり時々眼を閉ぢアイスクリーム二三匙を舐め意識明瞭なるが脈搏全く不調にして殆ど觸指せざることもあり又明かに觸指し且つ前日に比し弱からざることあり呼吸不完全なるも二十か
り漸次不良なるが今朝に比し幾分加はる、正午體溫三十七度六分脈搏百十呼吸二十。午後三時卅分體溫三十八度六脈搏百六十呼吸二十。

本邸へ

危篤の儘　今や歸還の準備整ふ

二十日午前十時全く絶望を傳へられたる寺內伯は平井博士其他の手當に努めたる結果更に呼吸回復したれば病氣危篤の儘東京麻布の本邸に運ぶべく自動車は一切の準備を整へたる儘大磯に止まり居れり（大磯電報）

御見舞

東宮殿下　葡萄酒下賜

東宮殿下には寺內伯病氣御見舞として葡萄酒一箱を下賜せらる（東京特電）

兩相見舞ふ

田中陸相加藤海相は二十日午後三時五十分東京發列車にて寺內伯病氣見舞の爲め大磯に赴きたり（東京電報）

李王、王世子御見舞

李王殿下には寺內伯病氣御見舞として葡萄酒一箱を賜はり王世子殿下は高事務官を差遣され御見舞ありたり（東京特電）

見舞客織るが如し

二十日午後の大磯別邸　本邸は俄に電燈電話增設

秋雨に寂しき大磯なる寺內伯別邸には二十日午後二時來見舞客續々來り從つて同邸は狹隘なるより四五町を隔たりたる山下龜三郎氏の別邸を借受け新に受付事務所となしたり尚ほ容態危篤の報を聞き來邸中なりし宮野中將は二十日正午陸軍省**人事課に**此旨を傳へ同邸にては引續き見舞客の往來激しく其中重なる見舞客は井上侯、山縣伊三郎氏、伊藤公未亡人、長谷川元帥、川村元帥等なりき又麻布笄町の寺內伯本邸にては陸軍省より派遣の**將校數名**主事を援け伯の容態險惡の報を氣遣ひて電燈電話の增設を爲す等種々準備を急ぎつゝある折柄午後一時頃陸軍省の坪井少佐自動車にて來邸し同日下賜せられたる元帥刀を奉じて大磯に向ひたり（東京電報）

明石總督

再び重態

明石總督は十七日福岡著以來經過良好なりしが十九日朝より再び肺炎の症候を發し午後四時過ぎ腦溢血の徵候現はれ漸次增進し呼吸困難精神甚だしく混濁頗る重態に陷れり（下關特電）

自動車界は大恐慌

價額が鰻上りに暴騰す

休戰條約當時歐洲に於ける自動車製造業者は其の戰爭中殆んど獨占されてゐた米國製品に對抗すべく其活躍を豫告し著々其實行を期し今日に到つたが事實は**相違し**歐洲今日の有樣は未だ戰爭の痛痍癒えず充分の生產力がない所へ戰爭中全く其使用を抑制せられてゐたのが急に解放された爲めに需要激增して到底豫期の如く販賣をなすことが出來ぬばかりか價格は却て戰前に數倍するに至つた其一例を擧げると戰前一萬八九千圓で買へた『ロールスロイス』號の如きは今日**五萬圓**を唱へデームラーですら二萬八千圓を唱へる有樣である其上で戰後の歐洲に對する危懼の念が[illegible]幾分か安心した米國市場は此の[illegible]すると同時に勞銀の昂騰需要の激增等よりして重なる自動車製造業者は一臺に付三百弗乃至五百弗の**値上を**爲すに至り米國製品中の一流に數へられる『ピアスアロー』號の如きは乘用車一千二百五十弗貨物車五百五十弗の昂騰となり『ハドソン』號も亦二百五十弗ドッヂブラザーは百五十弗の何れも値上を發表した從つて日本に於ける輸入自動車は**米本國**に於ける値上げの額に更に三割五分の輸入税を附加しただけの値上げをせねばならぬことなつたので日本に於ける斯業界は其の資金の擴大と販路の澁滯とによつて大恐慌を來してゐる

飛行機の分配

分捕　日本には五百臺見當

輸送に却々金が懸る

聯合國が獨逸から分捕つた軍用飛行機は約三萬臺であるがこれは五大國で分配する事に決定して居るので目下委員が手分をして調査中である、我國からも瀬川中佐岡大尉等の委員が出張したが**分配法は**歐洲戰に最も多く國費を費した英佛を主とし米國之に次ぎ、日伊兩國は最も少數で先づ五百臺位この見當であるといふ事であるから大したものである、然し只飛行機が一時に手に入るのだから大したものである、然し只機體は貰つても輸送運賃は一機五六千圓乃至一萬圓位を要し全部を輸送し來るには少くとも**三四萬圓**の金を投ぜねばならぬので當局では鳥渡頭痛の種らしい、それは其五百機が全部完全なものなら申分ない有難く頂戴するのだが獨逸では聯合國に引渡す前に軍用機を民間用に變造したりマグネット其他の機關や特殊裝置の主要部分を取外したりした上に小一手も手入をせずに打捨つてあつたので完全の物は少ないから**充分選擇**の上使用に堪へ得る物約百機位が輸送されるこ思へば間違ひあるまい、種類はAEG式一九一八年型フリードリッヒシャーフェン、フォッカー、ゴーター、ルムプラー、シエッケルト等で到着期は明年、其多數は民間に拂下げられる豫定ださうである

午砲の移轉

今日豫定地で音響試驗

從來の午砲所南山公園は朝鮮神社敷地豫定地に該當し居るより早晩他へ移轉の必要あり其候補地としては南大門停車場西南千米突の普通商業學校北方高地と略決定されたるに付豫め其試驗を爲すの目的を以て軍司令部にては二十一日午前十一時同所に於て野砲を据附け前後六回の試射を爲したるが各方面に亘り試驗を知る爲したる結果は氣遣はれたる京城方面への反響案外に宜しく龍山方面へも在來と異ならず頗る良成績なりしを以て午砲發射所は多分前記の場所に確定を見るに至るべしと

爆彈

王揖唐氏に　犯人は不明

北方代表王揖唐氏邸に爆彈を投ぜし者あり王氏は無事にして犯人は捜索中なり（上海電報）

大阪の虎疫

一時に七名發生

十九日に至り大阪附近に一時に七名の虎列拉眞正患者發生し是れにて初發以來四十三名となれり（大阪電報）

虎列拉

又復仁川に　死亡後疑似菌を發見す

仁川松島里五十七番地勞働朴慶根妻姜姓女（二〇）は十八日午後五時死亡其の病菌頗る疑はしきものあるより念の爲め採便檢鏡したるに二十日午前十一時疑似菌を發見したるを以て直ちに隔離消毒を施し豫防に努めたり[illegible]氏の母にして永宗島に居住せる張氏（二十三）は發病して十四日午後六時死亡し續いて十八日には同人の夫[illegible]氏の死亡せるより[illegible]疑はしき點ありて採便檢鏡したる結果疑似菌を見せるものにして系統等に不明なるも張氏の子は永宗島に於て漁師を爲し居ること云へば或は之等より感染を受け仁川に來りて發病せるものに非ずやと推せらる（仁川）

暴露す

秘密計畫　犯人悉く逮捕

[illegible]再び不穩の行動に出づべく〇〇にて畫策中の〇〇の敎員外二名を一網打盡逮捕せり〇〇の家宅搜索し有力なる證據を押收せり（晋州特電）

一新した李王職

長官、贊侍の入替へ　閔尹兩子辭職の理由

老樹翠濃き昌德宮の李王職は過般來何となく動搖してゐるやうに噂されてゐた其上聞くも忌はしい故李太王殿下御遺產分配なこの噂が喧しやかに取沙汰されたり折も折閔李王職長官贊侍尹德榮子の辭表提出あつたので噂は**尾に鰭をつけて**傳へられるやうになつた然しながら東京特電に依れば廿日閔尹兩子爵の辭表は御聽許になり新しく李王職長官として門地高く令聞ある男爵李載克氏同贊侍に男爵韓昌洙氏が任命されたと云ふ廿一日朝李王職の閔次官を訪ふと氏は語る『李王職の勤務なぞは全く勤め方も[illegible]い事である**冗員淘汰**があると云ふ事も現在のところ必要無いと思ふ勿論德壽宮の魂殿を守するにつけても德壽宮の各職員に冗員が出來るので幾分の淘汰は免れまいが夫れは將來の事である現在は何等其の動搖も有りやうがない閔長官尹贊侍の辭表を奉つたのは何れも病氣の爲め重職に堪へずと謹んで骸骨を乞うた次第である**李王殿下**には閔尹兩氏の辭職を惜まれ遣つて兩氏多年の功勞に對し御詮議がある筈であるが又新任の兩氏に對しては王殿下も特に御滿足の御樣子である新長官李男爵は溫厚篤實で門地も高く學歷も立派で贊侍も亦立派な方で顯族ですから非常な適材だと思ひます新任の兩氏が午後は見ゑるので申次ぎも未だからです』

假死の狀態から蘇生

稀に見る奇蹟的の現象

總督府醫院長　芳賀博士談

寺內前首相が一旦薨去になられてから注射の結果復蘇生され再び假死の狀態に居られると云ふのは醫學上から見ても稀に見る現象である世に死者が蘇へると云ふ事は[illegible]ないのであるが何か奇蹟的に一旦假死の狀態に陷つて居た者が再び息を吹返す事もある然し夫は多くの場合死んだのでなく一時死せる者の如く見誤られた時で、素人眼には眞の臨終を見極める事は困難である、伯が蘇生されたと云ふのも多分未だ**主治醫の診斷**を發表せぬうちに薨去せられた如く見ゑたのを其儘早計に薨去と斷定を下して誤り傳へたのであらうと思はれる、奈何に名醫があつてカンフル又は食鹽注射を施したとて相當の時間を經過してから死者が蘇へる道理はない伯の現在は多分假死の狀から一旦回復され更に重態に陷られたのであらうと想像される

疑問のセ夫人

過般來遊のセミヨノフ夫人は眞物か、贋物か

狐に魅まされたやうな話し

二三日前の東京朝日新聞紙上に『贋物のセミヨノフ夫人』と題する記事が掲げられて居た。該記事は下關特電で西伯利歸りの第四師團副官原守中尉の土產噺とあり記事の要領を示せば過般**セミヨノフ夫人**と云ふ觸れ込みで日本に來遊し各所を遍歷つてチヤホヤと待遇されたマリア、ミハイロミ云ふ夫人は、實はセミヨノフ將軍の正妻でも何でもなく唯將軍と關係があるに過ぎない。それを正妻扱ひにした日本人は餘つほど間拔けだと露西亞人が笑つて居ると云ふのである該記事が眞實であるとすれば成程マリア、ミハイロミ云ふ女は日本人にマンマと**一杯喰はせ**たわけであるが之を以て直ちに贋物のセ夫人だとは斷定されない。何となれば同夫人にはセ將軍の副官瀨尾榮太郎氏が同道し氏自分の口からセ夫人であることを明言して居る以上氏の責任に關することは勿論であるから、何が爲めに贋物のセ夫人を伴なつて我國民を欺罔しセ將軍の面目を傷つける必要があらう？ところが偖て瀨尾氏は或要務を帶びて再び**內地に向ふ**べく今朝京城を通過したので車中に訪れ此話をすると『それは怪からん過般來遊した夫人はセ夫人に相違ありません』と斷言したが然し曾て西伯利に從軍した某新聞の記者など『あれはセ將軍の妾だ本妻は他に居る』と物知り顏に他の新聞を讀つて居たが實物を見て居ない當人の云ふところも亦當てにならず、何しろ本物のセ夫人を見た證人が出ない限り過般來遊したセ夫人の正體は依然として疑問である、強いて詮議立てするに及ばぬとは云へ一寸狐に魅まされたやうな話しだ。

大和丸の遭難

全南珍島沖にてシャフトを折る

神戸汽船大和丸（木船九百餘噸）は大正七年一月進水しはセメント外雜貨千二百餘噸を積載し去る十二日門司出帆大連に向け航行中十六日全南珍島沖貨子島附近にてシャフトを折り航海不可能となり**進退谷まり**困難せる由門司の木浦署備付無線電信にて木浦署に報告ありしかば十七日佛曉驛母船扇海丸は現場に出張し十八日午後大和丸を曳船して歸還せしがシャフトに傷所あるのみならず**木船の悲**しさには積荷多量の爲め船體自身裂れ自然シャフトに無理を來せしもの如し同船は本店へ向け至急代用シャフトの送附方電報したるが右着次第取替出帆の筈（木浦）

散財の眞最中

逮捕さる

宿屋荒しの曲者住所不定金東烈（二〇）は九月四日府內貫鐵洞二百六十九番地朝鮮旅館に投宿し午前四時頃同宿中の咸鏡南道咸興金基鳳所有銀側時計價格二十圓及び同じく邵容浩所有銀側時計十七圓現金三圓を窃取したるも發覺されざりしに味を[illegible]ら九月二十四日迄に五箇所の宿屋を荒し現金及び物品にて二百九十一圓を窃取し越ゑて本月四日には貫鐵洞百八十一番地松波旅館に投宿し同宿中の三名より洋服外五點價格二百六十四圓餘及び現金二十三圓七十錢を窃取逃走し物品は何れも入質し其の金にて新町長谷川樓に登樓散財中を鍾路署の手に逮捕され取調の末右の事實判明したれば二十日檢事局に送らる

負傷

二十日午前六時釜山發第十五混合列車が慶山大邱間進行中三十七八歲位の鮮人男一名機關車に觸れ前頭部に打撲傷を負ひたる騷ぎに列車は現場に約五分間停車し負傷者を介抱の上大邱驛に伴ひ同地鐵道醫の手當を受けさせたるも何分重傷にて言語を發する能はず居所氏名等も不明なるより其儘官憲に引渡したる由

三券溫習會

廿八、九の兩日　喜樂館で

京、中、新の三券番合同にて來る廿八、九の兩日喜樂館にて秋季第一回溫習會を催す筈なりと

竊盜

水原郡水原面北水里二十九番地金光洙（二三）は本年七月下旬花園町百七番地杉倉甚榮方に雇はれ太平通り二丁目二百六十五番地金演大（四〇）と共謀し八月十九日南大門通り五丁目岡田こと方の玄關より女持洋傘價格三圓を窃取したるを始めとして其後十二回に亙りて窃盜を働きたるが九月十六日明治町二丁目七十六番地成山吉之助の自轉車價格七十圓を窃取入質し居たるを鍾路署にて探知する處となり同署に逮捕拘留中の處この程檢事局に送られたり

虎疫終熄か

木浦地方

木浦は眞正、疑似等凡て二十名の虎疫患者を出せるが當局は府と協同し極力防止に努めし結果次第に成績を擧げ今や殆んど終熄の狀況なるが茲暫くの警戒をなりこて一般に注意し鮮人間にも徹底的に注意を促しつゝあり（木浦）

夜店荒し

廣島縣豐田郡豐田村大字尾田一五一番地石田管一（三七）は數日前渡鮮大邱に來り何處こも住所を定めず市內を徘徊中去る十日夜午前零時三十分頃十二間道路に於て毎夜飲食店を營み居る村上町今村梅太郎が便所に行きたる留守中に忍び込み賣上げ代金五圓を攫ひ八重垣樓娼妓[illegible]に至り二圓五十錢を費消したる事發覺し大邱署へ引致されたり（大邱）

歡迎琵琶大會

筑前琵琶宗家師範代秋根旭惠女史の入城を機とし京城琵琶界の有力者本多旭映、水町旭子、村旭汀、坂井旭水、龜川旭江、竹谷旭蓬、松岡旭愛の七氏發起となり同女史歡迎を意味する琵琶大會を來る二十五、六兩日午後六時より本町喜樂館に於て開催の筈なり

運動界

水原の庭球戰

京城醫學專門學校庭球部は十八日南大門發にて水原に遠征、午後二時より模範場コートに於いて水原農林專門學校と庭球試合を擧行せり、本田博士、模範場職員、慈惠醫院醫官其他多數官民來觀し始、農專軍は今春以來猛烈なる練習を爲したるも醫專軍遂に優勝三組を出して大捷し試合後農專校にて選手の茶話會を催せり

農林軍		醫專軍
永井	藤波	山中　富川○
池永	與	田中　富川◎
◎中山	山口	小野　三輪
◎中田	山口	佐々木　古屋
青木	大島	久保　久保田◎
林	片岡	久保　久保田◎
中山	山口	平良　福島○

農林軍は近く京城遠征を企圖しつゝやるにて京城各チームの遠征も非常に希望しつゝありと

アイアン勝つ

南大門金物商組合は過般アイアンチームと改名したが十七日午前十時から訓鍊院で共益社と野球試合を擧行し十六對十にてアイアン軍勝ちたり當日のメンバー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
アイアン軍	沼田	宮川	安原	西松	天神	青木	山田	馬塙	青木
共益社	大桐	厚兒	松尾	桃井	植木	米澤	伊藤	金村	荒牧

小唄

お祭の日の宇都宮司令官が[illegible]やかに囃立てながらやつて來た▲と見るや軍司令官は松本縣知事の軒下に除け例の通りニコくしながら立ち竦んでゐた▲或る人が『閣下お急ぎなら御案內しませうか』と云ふと『もう通れますか』と何處までも行列の邪魔にならぬやう控えてゐた態度が奧床しかつたと其人の話▲お祭りの日に巡査が終日疲れた風も見せず取締に全力を盡した勞苦は謝すべきだが中には醉漢の醜態が癪に障つたのか擲らなくてもよささうなのにポカリく喰はしてゐたのもあつた▲昨今混雜の電車中巡査が傲然と席を取つてゐるのを往々見受けるが夫に反し遠慮してゐる巡査を見ると奧床しく思はれると或る人の話

連絡船上陸客

[illegible]同ひさら、西山貞助、小田弘隆、佐々木しを、背谷ごう、[illegible]中島五郎、松本正朗、古河よち、[illegible]大內節江、辻井梅太郎、多賀清吉、[illegible]鍋子、相恒米作、西尾八太郎、[illegible]忠雄、津口飛、吉田定良、外人五名、二等（四五四名）

[illegible]見たるに生後五ヶ月許りの男子を風呂敷包に包んだる儘に捨て[illegible]出張檢視の上洪警署の顧に依り子供は彼に引渡されたり原因は同家の事情を熟知せる何者か[illegible]

仁川期米

二十一日後場（反撥）

[illegible]

天氣

晴一時曇

[illegible]

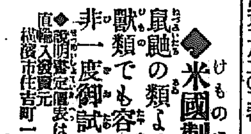
若き男女の必讀書出づ（新最刊）

生殖器學全書

洋裝美本七百餘頁　價金五圓　目下割引送共貳圓八拾錢

男女の愛はこれ天の與へし人生の幸福なるも、從來これを秘して人に語るを避く、されば若き男女はこれに關して人に問ふ事能はず知らずく不衛生に陷り又は人生快樂の滿足を知らずに不幸一生を終る者少からず、されば[illegible]

發行所　東京神田三崎町二ノ十一　振替東京一八二〇二番



米國製捕獸器

鼠鼬の類よりどんな大きな獸類でも容易に捕れます是非一度御試し願ます

◆說明書定價表は御一報次第送呈

直輸入發賣元　橫濱市住吉町一丁目（公園前）　吉川米次郎商店

セキトボンボン

菓子の如き美味を嗜しみつゝ咳嗽喉氣管の加答兒を治癒し咳嗽を止め息切を防ぐの効を奏するのが此藥の現代的な特色であります。

○各地藥店にあり

咳嗽患者、音樂家、雄辯家、旅行家の人々に此世界的名品をお薦め致します。

東京　株式會社　和光堂　大阪

腸胃全治

一道丸

下痢腹痛特効劑

定價　十錢　廿錢　卅錢　五十錢　一圓

全國到る所の藥店にあり

製　大阪天滿　樋原合資會社

內科　小兒科

京城永樂町一丁目（商品陳列館前）

村上病院

院長　醫學士　村上龍藏

電話六一一番

第五版

風變りなる 蒙古の都會振り

雜貨は免税薪炭は徴税

洮南府は蒙古の大市街にして洮南府は鄭家屯を北に距る百四十哩の地點にある支那人の蒙古に發展せる根據地である四方は土の城壁を以て圍まれ東西南北に計六門あり何人と雖も此の門を潜らねば出入が出來ない門の入口には支那巡警が控へてゐて一々護照の檢査を爲し出入の貨物に對しては一車に付四錢の課税を現品で徴集する尤も雜貨類は免税せられ主として薪炭類に課税せらるゝのである洮南市街は東西二十五丁南北また二十五丁の眞四角な地形を有し此の城壁内に官公署商店が軒を並べて地圖では

純然たる蒙古で

あるが北勢力に於ても政治關係に於ても全く支那の主權に屬し奉天省の管轄となつてゐる今より十五年前初めて支那人が此處に市街を築き僅に其三四十戸に過ぎざりし當時に於て既に道尹が門を設置し鋭意その發展に力めた日本式の政策であると先づ那人の勢力が及んでから官廳が設置せらるゝ順序だが支那式にあつては先づ役所を設置して發展の先驅を爲し而して人民を招き寄せると云ふ遣り口で

日本とは正反對

であるサテ其洮南の道尹衙門は鄭家屯に日本の領事館が設置せられ諸般の交渉事項が頻繁となつたので鄭家屯に移轉した支那側の官公署としては縣公署、第二十九師司令部、監獄、警察署、審判廳、捐務局、兵營、郵政局、電報局、學校等がある學校として高等小學校が一校あり、高等小學校は國民小學校（我が尋常小學校程度）三校、同女學校、洮南縣立學校は英語兵式體操等その他の諸學科何れも程度高く職員十二生徒三百頗る堂々たるもので一寸賛に價する其他

蒙古王府として

は札薩克圖王烏泰王が居る其王府は百八十支里の西北方にあるが過ぐる烏泰の亂（大正四五年の交烏泰王民國に反旗を飜し兵したるも一敗す）に支那兵の焼き拂ふ所となり目下新築の普請中であり王は洮南の別莊に滯在してゐる支那には戸籍が無いから確實な數字は分らぬが洮南の人口約三萬と見れば大過なく

内女は三分の一

しかない日本人としては大正四年平馬氏の入洮を初めとして目下（大正八年夏）三戸七名の居留民あり洮南府が開埠地で無いと云ふ理由から支那官憲は日本人に對して居留の權を認めず三戸の人々は何れも旅館に滯在するの形式を踏んで毎日支那宿から宿泊届を出すのだと云ふ帝國の勢力範圍と公稱する蒙古に於る

日本人の勢力の微弱さ加減以て

知るべしである既に居住の權を認めない位だから勿論營業の權利をも認めず尤も護照があるから支那官憲として日本人の生命財産の保護はして呉れる筈だが知事や警察署長等の日本人に對する壓迫は甚だしいものがあると云ふ洮南知事は張延厚氏とて日本に一年ばかり留學してゐた事あり日本留學生が歸國すれば必ず排日の急先鋒になると云ふ事實を最も雄辯に

證明せる實例で

ある支那人の日本留學生は歸國すれば何れも官途の要部に任官さるゝのであるから留學生を大切に優遇し一旦ひたいことは優遇なき在住同胞の衷心の希望に相違無いが一面支那留學生は如何に東京で優遇するとも歸國すれば必ず其恩義を仇で返して排日の先鋒になるから優遇するは無駄骨だと主張する人もある斯くの如く日本人の勢力は微弱なが此の洮南府を以て止めを刺し之れより以西以北には及んで居らぬ（哈爾賓）

支那人驅逐策 正業者以外は

ドシドシ露人から追放

目下オムスク政府は自己の發行紙幣の下落を防遏する手段として種々手段を講じつゝある中にも近來ロマノフ紙幣とシベリヤ紙幣の交換の差を利用して現金の持出しを計る者あるより之が取締を勵行し居るが就中其分子は支那人に多きを以て之等の支那人投機商人又は正業の無い者は今回露國官憲から悉く國外に放逐さるることになつて浦鹽では既に實行に着手された、放逐されて歸國した支那人の話に據れば露國官憲が

支那人を放逐す

る時は嚴格に區別すると言つて居たなれど事實は崩壞と暴警が支那人街に出張して支那人居留民團倶樂部、劇場其他商店等は片端から破壞して中に居る支那人を追ひ出し又支那人が住居する家屋に亂入して放逐を強制し此間露國官憲は非常な殘忍な野蠻的な行動を敢てする而して若し此退去命令に應じなかつた場合には九ケ月の

懲役或は一萬留

の罰金を科せらる、ここになつて居るから止む無く退去するは勿論家財を纏めて持つて行つても途中で强奪して居る警官に押へらるゝのであるから皆有金丈けを袋にして逃げるのださうだ又運が惡くて愚圖々々して居る處を露國官憲に捕へられた時は命令に服從しない廉を以て罰金一萬留を取らるゝか牢に拋り込まれる牢に入れられたら

一片の麵麭さへ

與へて呉れぬから餓死に決まつて居る斯う云ふ始末で何等の區別が無い爲め西伯利に在留する數萬の支那人は戰々恟々たるもので今や路頭に迷ふ者さへあるのここだが行はお負けが付いて居るから話半分と見て宜い併し西伯利に於ける露國官憲は何故に支那人を放逐するかと言ふに西伯利では生活難に苦しみ又

職業が無くつて

其日々々の糧を得ることの出來ぬ露人が頗る多數で之等を救濟するに數萬の支那人（大部分は苦力）を驅逐すれば露人の口に幾何か餘計に食物を得ることが出來又從來殆んど支那人の獨占であつた勞働には自國人をして從業せしむることが出來るから止むなく此手段を取つたものと思はれる（浦鹽）

仁川に發生の 虎列拉後聞

自衛と豫防注射

豫くて濟むべかりし虎疫が遂に終熄に近づいて仁川に一名の眞正患者が出た、檢疫豫防殆んど寢食を忘れて嚴重に勵行しつゝある當局の苦心を裏切て何等系統なく何等原因なくして仁川に

突發患者 が出た、眞に不可抗力の致す處市民は此虎疫の眞正の聲に初めて目覺めたる者の如く燐膽措く處を知らざるの有樣であるが幸ひにして其處の敏活と防疫方法の完備とは決して他に傳播の恐れなきを確信されて居る、然し乍ら影だも物に追はるる時そこに底知れぬ不安がある何時何處に突發せないとも限らぬから市民は相共に警戒之れに對する充分なる覺悟を持つてゐなければならぬ先づ第一に此上の

危險防止 には豫防注射を勵行するより外にない注射濟みの者に對しては例令虎疫が犯す事あつても頗る輕易で決して生命に危險を見るが如きはないと確認されて居る、現に今回の突發患者の如き既に九月中旬に於て二回の豫防注射を行つてゐたる結果虎疫に罹つたら十中七八迄は必ず死亡する統計を裏切つて頗る元氣が好く近きに全治退院が出來るだらうと噂されて居る以て豫防注射の効果は明瞭であると云ひ得るのである、仁川では既に他の何れの處よりも多くの接種者を得

注射勵行 は自發的に進むで接種した結果は約二萬の多數に達して居るが尙ほ一般家族等に對しては未濟の者が多い樣である之等は此際至急注射を勵行して事前に確信を持つて攝生するの必要があるではあるまいか更に飲食物の攝生は一寸も忽にすべきでないのは勿論のことここで虎疫は如何なる場合でも食物は特に注意を要する事は從來屢繰り返し注意された事である、然るに近時暫らく

事無きを 得たる爲め小康に馴れたと云ふ具合で肴の刺身位平氣で喰つて居る樣である、がまだ決して油斷は出來ないのみならず忠淸南道沿岸に於ける流行は今尙益々其の猖獗を加へつゝあるので危險は却つて從前よりも現在に多いと云ふ事を知らねばならぬ何にしても暫らく自衛の手を緩めてはならぬ

營口と滿鐵

營口の港灣施設に就て滿鐵は營口に如何なる施設計畫をなさんとするかに就て營口人士の間に聞くに見るに角現れ營口に於ては如何にしても滿鐵會社の力を藉りて營口の自然の不利を除き結氷並に港口の埋沒等の短所を償はんと努力しつゝあり就中應急の策として現在社有地とて居れる所を如何に使用するか更に他の土地の買收を如何にするかと云ふ事が第一著手として研究されつゝあり（營口）

大規模の酒造

糀搗精米をも兼業

群山澤田精米所主たり澤田傳松氏は夙に群山に於ける自己經營の工場一切を鮮物産株式會社に讓り渡し同社に入社して群山支店長の職に就き一面全北裡里に個人經營として規模大なる満酒燒酎醸造工場の計畫を樹て着々準備を進捗中此程其の完成を告ぐるに至りたり今其設備と企畫の概要を聞くに清酒原料製造を主眼とする糀搗精米工場として敷地二千六百坪建物二百五十六坪を新設し之に吸入瓦斯動力五十馬力糀搗精米機數臺を据付別に敷地六百坪建物二百數十坪の既設建物を買收し之に清酒釀造工場の買收を了し更に新式酒造機蒸溜機等を竪へ近く事業開始の運びとなる由なるが初年度造石見込高は清酒五百石燒酎二千石なるも翌年度よりの豫定にて特に鮮人の嗜好する燒酎の釀造には萬全を盡し年々巨額の鮮内輸入を見る支那燒酎に拮抗すべき計畫なりと（群山）

滿洲銀行將來

此の程設立認可ありたる滿洲銀行は頗る好人氣の如くなるが同銀行側の抱負なりと傳へらるゝ所に依れば、單に五百萬圓四分一拂込の普通銀行を以て甘んずる者にあらず、將來は現在の數銀行と大合同を遂げ資本金四五千萬圓程度の滿洲中央銀行たらしめん希望にして其曉政府の諒解の下に支那地方政府出資を求め日支協力しての開發に貢獻せん抱負なりと云ふ（大連）

下火になった 江景の虎疫

湖南線江景に於ける虎疫は一時は猛烈に蔓延を爲し容易に終熄すべき模樣にもみらざりしが官民協力して晝夜防疫に努めたる結果と氣候の關係等に依り殆ど終熄の狀態なり而して初發以來十月十七日迄の患者總數は合計三百五十七名にして内死亡數は二百三十三名全治六十二名現在患者六十二名なりと

三菱病院の擴張

兼二浦三菱病院にては今回豫算病室二棟、傳染病室一棟を增築し同時に醫員の增員を行ひ内容の充實を期する由なるが是れ市民多年の希望なる同病院の開放の前提とも見るを得べく一般に多大の望みを屬し居れり又同院に於ては今回新に看護婦養成科を設けて其養成を爲さんとの計畫を立て準備中なれば不日出願すべしといふ（兼二浦）

寫眞 屋ざんの慰安會

二十日甘泉亭で擧行した寫眞はスープ競爭（朝刊記事參照）

商況

株式

東京現株（至急電報）

二十一日中値	拂込	値
鮮銀	一〇〇.〇〇	一五八、〇〇
同新	七五.〇〇	一三〇、〇〇
京電	三七.五〇	……
殖銀	五〇.〇〇	九八、五〇
同新	五〇.〇〇	……
東招	五〇.〇〇	……

東京株式（至急電報）

二十一日第一立會	値	前電比較
東株	四一二、一〇〇	二、七〇〇安
同新	三九〇、三〇〇	三、七〇〇安
蒲鐵	一八六、一〇〇	一、一〇〇高
一新	一八一、〇〇〇	一、四〇〇安
二新	一五二、〇〇〇	四〇〇安

大阪株式（至急電報）

銘柄	二十一日前場寄付	二十日後引比較
大株	三八〇、〇〇〇	二、二〇〇安
同新	三七二、一〇〇	一、三〇〇安
日郵	二四七、九〇〇	一、三〇〇安
同新	一三八、六〇〇	二、〇〇〇安
商船	一七〇、〇〇〇	二、四〇〇安
同新	一四四、〇〇〇	同
鐘紡	三八五、一〇〇	二、〇〇〇事
同新	三六七、〇〇〇	四、九〇〇安
東紡	二七七、九〇〇	三、九〇〇安
東糖	一七一、一〇〇	二、七〇〇安
堂米	一七九、〇〇〇	……
上取	一九〇、〇〇〇	一、〇〇〇安

京城現株（標準値段）

銘柄	拂込額	時價
仁取	五〇.〇〇	△一七〇、〇〇
朝郵	五〇.〇〇	四二、〇〇
電興	一五.〇〇	一八、五〇
皮革	二五.〇〇	△二五、五〇
東畜	一二.五〇	△一二、五〇
朝紡	一二.五〇	一九、〇〇
朝紙	一二.五〇	一五、五〇
商銀	五〇.〇〇	五六、五〇
同新	一二.五〇	一八、〇〇
滿毛	一二.五〇	一五、〇〇
滿糖	一二.五〇	一七、〇〇
朝煙	五〇.〇〇	四七、〇〇
鮮土	二五.〇〇	三二、〇〇
東亞	二五.〇〇	二二、〇〇
藥買	三五.〇〇	△四五、五〇
仁倉	二五.〇〇	三四、〇〇
製粉	二五.〇〇	一五、五〇
京日	二五.〇〇	一九、〇〇
朝綿	二五.〇〇	一四、〇〇

（△印騰貴 △印下落）

出來高平均値

銘柄	平均値	出來高
上海取引	八七、五〇〇	七〇〇
朝鮮製紙	三六、〇〇〇	二〇〇
殖産銀行	一〇一、五〇〇	三三〇〇
電氣興業	一七、五〇〇	五〇〇
朝鮮煙草	三二、三〇〇	五〇〇
仁川取引	一七〇、〇〇〇	一八〇〇
朝鮮製綿	二三、五〇〇	六五〇
朝鮮紡織	二九、三〇〇	三〇〇
東亞勸業	四六、〇〇〇	一〇〇〇
朝鮮銀行新	二四一、五〇〇	四〇〇〇
朝鮮皮革	二五、五〇〇	一〇〇〇
中央鐵道	七二、五〇〇	三〇〇〇
日本海運	一八、〇〇〇	五〇〇
帝糖新	八五、〇〇〇	二〇〇

仁取新高値 唱へ百八十圓

仁取株は第一回拂込徴收氣構へに昨朝俄然五圓飛びの百六十三圓に奔騰し以來午前引段ぎ更に買人付きして百七十三圓となり八圓を走り遂に午前中より十圓方の新高値を演じ六十圓の關門を苦もなく突破して賣物さへあれば向は益々強硬を現はしたるが後場の氣配は八十圓處迄の買進みある模樣なるもマバラ思惑者の手より離れて殆んど堅實筋に吸收し盡されたる同株の事なれば五八圓の値上りに周章賣りを試むるものも少なく寧ろ相場は買方よりして上りにも騰り上げらるゝ氣味ありて殆んど標準を知らず内地の所謂相對相場を現出しつゝあるが今日の人氣より推せば此勢

仁川株界風聞錄

仁川取引所の株主總會で後期迄に殘り二十五圓の拂込みを徴收するやう決議し一歩進んでは增資の說を主張する向も有ると云ふ素晴しき勢ひだが其の豫言が次から次へと仁川市民に流布して今朝の人氣は滅切高の百六十七八圓にて買はふとの聲のみにて賣物は更に無いと云ふ凄まじさに七八圓にて賣はれぬ好景氣の聲のみ二十五圓位の處にて買物は見へず一寸なりとも賣ひを爲すと此の調子に乘り引行はれて居る伊百五十二圓揚みに利喰ひたる中出東京安を拘んこ待ちへた御連中は果氣に取られ血眼になつて株探しを始めたとは近頃以つて珍奇な話であるが併し諸株の割りから對照したら百七十圓でも早いが得と云ふて居る向が多い

上取依然强硬

諸株不勢の折柄なるに拘はらず上海取引所株は獨り强勢を持續し本日も又九十七圓の取引行はるゝも現株八十七圓方と走り六圓唱へこなりたり

朝皮株小甘し

朝鮮皮革株は幾の皮革類暴騰と何等の好影響を與へず依然として三十圓拂込のもの二十六圓擦みに居据はり居たるが昨日久しぶりに三百枚の手合せ行はれたるが相場は二十五圓五十錢と小甘き成行を示せり

朝紡益々不昧

朝鮮紡織は特に惡材料現出したるに非ざるも内地諸株の不況に加へて其の値上りの捗々しからざるに聯が嫌氣を催ほしたる向多き模樣なるも且つは現在操業しつゝある紡績會社は數年後先約を爲しつゝある現狀なれば俄かに配當減の懸念なきも未だ漸く基礎工事に著手したる社に過ぎざる今日其の操業の日の果して何日なるやを知られざる前途に鑑みて多少の懸念を抱けるもの益々勞銀高を氣遣はるゝ折柄の株へもあり東京にては二十七圓唱への由にて當地にても頓に安氣配となり今朝二十九圓の手合せ行はれたり

東拓新小堅し

東拓株は一時綿り口の投賣出に最低の買擁されたる居たるが最近専制氣構へになり高步調を辿り四十四圓五十錢より五圓ご弛緩を占め更に五十錢の取引多數に五圓五十錢方今又復五十錢方上走り六圓唱へこなりたり

株式仲賣 ウ 滿長商會
京城南大門通二丁目 電話長一七三七番 振替五七番
仁川仲町一丁目 仁川支店
元山 支店

東株續て低落

東株は昨報の如き事情の下に漸次下押しを演じ今朝第一立會に於いても新舊共に十二圓七十錢安となり新東は遂に三百圓臺に陷込みたり

大阪も續落

大阪株式は三日續きの休會明けより頓に不況に陷り昨朝稍目立ちたる深押しを演ぜし以來後場も續いて低落したるが今朝尙ほも引續き二三圓安を報じたるは例の調節風に怯へたると勞働問題配當金課税問題に氣腐れこなりたるらしく想像されぎ今日の財界は單なる國内事情のみを以て律し能はざる振合あれば此儘持下げを演ずるが如き事なかるべしこ

米況

東京期米特電

二十一日前場	後場
當限寄付 四十四圓二十錢	
中限寄付 四十四圓十九錢	
高値	
安値	
止め	三九、九七

大阪期米特電

二十一日前場	後場
當限寄付 四十二圓三十一錢	
中限寄付 四十二圓二十七錢	四〇、七九
高値	
安値	
止め	

下關期米特電

二十一日前場（時）極力買氣ふ

	先限	中限
寄付	四一、三〇	四〇、七〇
高値	四一、四〇	四〇、七〇
安値	四一、三〇	四〇、二〇
止め	四一、三〇	四〇、三〇

仁川期米

二十一日前場（上放れに採合ふ）

前日より入氣强硬を辿りし折柄引跡大阪四十四圓十六錢と前の高値を上廻りを移して今朝の人氣は益々沸騰し立會は當限四十二圓九十錢中四十二圓十錢より九十錢反撥せしかば益々買氣を煽り出に四十錢と落し押目は前物續三十丁高に寄付きしも軟派の防戰に再び五十五錢と返し四十七八錢に大混戰を演じたるが買方の手拱に三十五錢と叩き九錢と

△第二節 當限の買ひに四十三圓を始め中出來ず先三十五錢より二十三錢と叩きしが買方一派の手緩く引

△第三節 當限の買に四十三圓より好く買ひ三十七錢と盛返し五錢と混戰裡に引

△第四節 二十錢より三十錢と伸び二十五圓の中因買に二十三圓丁度と始め錢より四十錢と上伸せ先三十九錢より四十九錢で大阪の前場四十圓七十九錢高値を移し若し昨日先手詰め買に伸擴みの手を相場を寄せたるも更に伸力鈍く幾分嫌氣に投げ現はれ三十二錢と押し三錢さ氣味に引

△第四節 當中不申先四方の手持さ南浦筋の賣物に二十八錢より廿錢と崩れ四錢と小戻しに引

△第五節 當中更に出來不申先に二十四錢より七錢と引締めしも甫賣さ東京安の噂さに嫌氣けを主つて商內閑散を示せし機先南喚起し二圓〇一錢を安値に打止めたり

市場雜觀

新米期の十二月限が斯の如く底固いのみか漸騰を辿らんとするは如何にも奇であるとして是れが眞價とでも云ふであろうか中々一時的の人氣相場でもない樣にある所謂理想で此の頃の米價を割高と觀し又は廻米の出を見越して正米と不割を知り乍ら下鞘を買込んでも見たが餘り其の應酬が認められない矢張り相場は依然たる者がある香導ろ押目買ひで騰貴の餘地がある樣に思はれてならん△然れは例へ新米期と云へ四十二圓は既に値頃に運ばれて居ると思ふのが誤りで金力腕力を超越して新時代の新相場は飽迄も斯樣な者この感を深からしめて來る成程相場は古くして新しく新しくして古き歷史を繰返す言葉は又此處に眞理を有して居ると違ゐはないので現在の相場が進化しつゝ繰返して居る道理で△徒に六年循環說などに囚はれて最早や下り坂なこ今日の米價を評して買込むは時期尙早なる事を裏書きして居りはすまいか去れば米價のみに限らず諸物價の高いにも相當理由があると思ふ第一通貨膨張第二人口の增殖第三勞働問題に對する資本家の防戰條件其他種々原因があるので如何に内地が豐作で六千萬石餘の實收額を示すとしても△一方需要の方で時局の洗禮を受けて强い緊張を見せ懷ろ加減は到底昔日の比でなく一人平均一割位登增に促され其の消費量は口は平年より高んで居るに反し△朝鮮は不作外米は輸入困難と云ひ四圍の事情から綜合しても大いした値は望まれ難く只當局の外米賣出しの矜持に一時の影響は免れずとしても最早低の知れた外米なれば肝心の正米より不割を叩く丈軟派が不安の期待を植へ付ける道理で夫れと同一に見做して今日の鮮米權威を戰ふは少々矛盾して居る如くも有るのみか田舍のお百姓は弗々新米を穩に納めながら容易に賣急がず四十六七圓を主張して來るこ果正米筋は呆氣に取られて居るそうな

京城正米市場

古米賣物薄の折柄新米は尙向ふ二週間を待たざれば見るべき出廻りなき模樣なれば此處定期安の反響も利目なく買人は依然頑强を唱へ居れる爲め買人の安値を唱へに反し相場は相變らず地摺上物四十四圓近かくの高値を維持しつゝあり

滿洲粟頭打ち

此數日來地方注文の弗々入込みに連れ市況滅切立直りを示したる滿洲粟は昨日來稍々賣氣を殺がれ氣配頭打ちの觀を呈せしが今朝商内は四平街十一月中一車十七圓八十錢開原十一月中渡十一車十七圓七十錢營口十一月渡一轉賣十六圓七十錢遼陽同轉賣二車十六圓八十錢公主嶺現物一車六圓九十錢にて出來せるが海城現物こしては十八圓二三十圓見當こ比較的手堅き唱へなり

驛發著穀地

十月一日より十五日中の南大門驛發著穀物左の如し

發送の部

大豆一八三噸 △白米五二五噸 △粟一、七二一噸 △高粱二九七噸 △赤豆一三四噸 △小麥五四噸 △胡麻五噸 △碎米二八噸 △雜穀五五噸 △籾三九噸 △裸麥三七噸

到着の部

白米五三六噸 △粟九一二噸 △大豆五二二噸 △季一三五噸 △小豆三一噸 △蕎豆九噸 △大麥一九噸 △麩一二三噸

南浦筋賣歷迫

當限四十三圓三十錢と引締まり續いて中四十三圓丁度と引締まり續いて圓三十錢と④買に突飛高を演じて四十二圓七十九錢と十九丁高を移し當限四十三圓は先三十錢高の五十錢と寄付きたるも軟派の主將たる南浦筋は防戰的に因め五十錢と上押したるも先手詰め急ぎに伸び二十五錢と墜落し三十錢を翳ね二十五より强硬なる賣物三千石を示せし伊に返し一寸一服の商勢を示せし機先人氣軟弱に傾き嫌氣筋の投げて物續出して二圓〇一錢と止めしも一般人氣は二十錢を主張したき形勢にて大阪三四十一圓〇六錢の早電を握りし買物輻輳せし果一派の氣勢に壓かされて不敵を叩きし丈け眼先或は一反撥あるや知れず

⊕ 仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎
仁川海岸町三丁目 電話長三三三番 三二七番

仁川正米市場

明米市場の活躍に氣配隔々を唱へられ商內漸く何こなく場境季の光景を示し市場寂寥の感ありしが買方は新米の出廻りを見越して安値買に傾きつゝあるも手持筋は産地の高唱へに鼻息荒く午前中は商内出來ざるが人氣は相變はらず忠清道三等合格標準米上四十四圓並四十三錢五十錢の見當なり

大豆は相變らず旱魃影響の前途供給不足を見越し居れば更に新規の出廻りなく依然高値を唱へられ龍山物二十三圓三十錢長湍物二十一圓八十錢白川物二十一圓六十錢の買聲なり

仁川米豆取引所仲買人 ウ 内海仲買店
電話長六二一五・六三二番 電略〇ウ又ハ「ウ」

釜山正米市場

内地期米硬調を報じたるも賣買雙方の態度强硬にて商談捗々しく纏まらず結局强持合の三等神力四十四圓五六十錢所にて二千五百叺許り出來又大豆は古大豆は持合新大豆は五十錢高の二十九圓三十錢にて三千五百叺出來

各地正米（二十日）

（二十一日釜山）

仁川	三等正米	四十三圓二十錢
釜山	同	四十四圓五十錢 氣配强し
群山		四十二圓八十錢
大阪に於ける群山三等正米		四十六圓三十錢

大豆頭打下押

大豆は釜山市場又復引返して小强き報を移し居れるも大阪同市場の成行きは既に實勢以上に釣上げられし嫌ひありし折柄こし氣配は逆に頭打ち五六十錢安を唱へられ新物二十四日處の買見當なるが手持筋安値に手放さゞる爲め市況は辛らく持合ひ見送りの振合ひなり

鐵板引締まる

鐵板は其後格別新材料の現はれたる譯にあらざるも前報同樣輸入關係によつて昨今更に上歩調こなり蕪許大阪の高報こ俟つて四枚物二十二圓五十錢こ約一圓方を引締めたり

銅眞鍮板昂騰

銅價の昂騰こ勞銀高を受け伸銅所の製品値上げ等に原因して銅板は百斤に付十圓眞鍮板八圓方の昂騰を示せり

平板買付困難

亞鉛引平板薄物の原板は格安物多量入荷の見込にて一般に輸入を手控へたれども實際の契約品は意外に僅少なりし爲め需要の激增せるに拘はらず内地の生産高又少量なれば到底需要を充たすに足らず輸入業者に於ても買付けに汲々たる有樣なれども東國筋は薄物原板こして買掴く方昨今の罷業狀態より見るも有利ならば三十番の如きは絕對買付不可能にして宅地品も目今の薄物原價より採算するこきは到底二圓四十錢以下にては不引合を唱へ居れば前途益々好況を呈するに到るべく而して標準物三十番一枚三圓二十錢唱へなりこ

肥料石灰精米石粉

京城本町二ノ九電話三〇五四番 大正石粉工業株式會社

米國金物奔騰

十六日本國入電に依れば紐育に於ける金物相場は歐州方面の需要旺盛にして莫大なる註文續々市場に現はるゝ爲め何れも昂騰し殊に銅の如きは大阪沖著値段六十七圓こ奔騰し亞鉛二十五圓五十錢、銘十八圓五十錢上進したるが銅は内地より三圓、鉛及び亞鉛は一方上鞘を示すに至りたれば内地相場も勢ひ之に追嵜せの歩調に向ふべきか尙別報に依れば既約鐵類及び製品の積出しは明年三月迄ャ不可能にして且つ新規注文は何れも上半期出しにあらざれば應ぜずと

資本金四千萬圓
拂込濟資本金參千萬圓
積立金四百貳拾壹萬八千圓

朝鮮銀行

總裁 美濃部俊吉

預金、貸出、割引、海外諸爲替、地金銀ノ賣買其他一般銀行業務竝朝鮮滿洲及沿海州ニ於テ金庫事務ヲ取扱申候

支店出張所及派出所
內地 東京 大阪 神戶 下關
朝鮮 釜山 仁川 平壤 鎭南浦 元山 群山 木浦 大邱 會寧 新義州 羅南 城津
滿洲 大連 旅順 營口 遼陽 奉天 奉天新市街 安東縣 開原 四平街 鄭家屯 長春 吉林 哈爾濱 齊々哈爾 滿洲里
支那 上海 青島 天津 濟南
露領 浦潮斯德 （松田銀行部）
（交換所） ブラゴウエシチエンスク ハバロフスク
右ノ外倫敦、紐育、巴里其ノ他內外國要地ニ爲替取引先有之候

世襲財産こしても最適の堅實有望なる安全株推奬致候
十日弊店發行の調査報師一覽願上候（毎月三回發行）
大阪市東區北濱貳丁目廿六番地（難波橋西の南通）

公債 株式 現物問屋 ㊁ 三章堂株式店
電話本局二五〇八番 四二九五番

株を買ふ資金融通
何株を問はず時價の八掛迄低利融通申上小資金にて株式御買入希望者の御便宜に資し申候何卒御照會被下度候
大阪市東區北濱二丁目廿六番地
三章堂ブローカー部

政府鑛業權登錄權利記名式
特別提供 鑛業債券 特別有價 特別贈與券募集
無限の寶庫を開發し巨萬の富を與へる此の債券を公衆に分讓公募し第一回は應募千數百名に頒ち好成績を收め昨年下半期（十二月）本年上半期（六月）に配當十割を實行し驚喜せしめたり
三年三ケ月拾倍の配當保證付にて元金拾倍の特別利得を得る債券を提供す普通株式の比に非ず鑛業權は優良確實なる擔保付有價證券に御申込みの方は郵便ハガキにて御申込相成度説明書一切を送る
東京銀座三丁目
武尊鑛業出張所

株式會社野村商店代理事務
朝鮮中央鐵道
新株募集取扱所
御申込（十月二十五日迄）ニ付テハ至急御相談ニ可應候ニ付之カ金融立替等ハ特ニ御考案シ申上候
株式會社野村商店代理店 有價證券現物問屋
京城本町貳丁目 田中友吉商店
電話長 五八八番 九三〇番 九五四番
受信略號「ケイジヨウタナカ」
仁川本町 田中友吉仁川支店
電話七貳六番

平和記念勸業債券！
七十二回拾圓券▼十一月一日抽籤
（一等割増金）
四千圓 二通組 廿圓
六千圓 三通組 卅一圓
八千圓 四通組 六拾六圓
二千圓 一通賣 拾圓拾錢
右四種 御買入時價 特價 百廿六圓也
七十二回新券同樣 ▲十二月七日
一等四千圓 二通組 廿圓五拾錢
▲右送料本社負擔 ▼注文は賣切れ迄
▼代金引換不扱 ▽百圓以上の注文は御送金後に現券を御屆け仕る
大阪西區土佐堀八丁目 電話土佐堀長三九五五番
和田商事株式會社
（御送金は大阪八十二番へ）

伊達騒動

小金井芦洲講演

第三十六席

綱宗公夢より醒 伊達安藝は聲高に 安『今頃參つて開門せよと申すは何者である』と怒鳴りました、イヤ最う驚いたのは荒浪梶之助、鳴神峯右エ門の二人 峰『是ア何うも……』と云ふと逸足出して逐うく此二人は逃出してしまつた 綱宗公は何とも答へ術も知らず近習と共に呆然と佇む、安藝は門の人見を明けてヒョイと見ると提灯の記しは竹に雀の御紋、後に立つてお出でになるのが大守の君 安『オヽ、借ては何者か君名を僞り、と心得たるに左はあらずして誠の御館にて渡らせられましたか、存ぜぬこと、て飛んだ慮外、平に御容赦下さいますやうに、唯今開門を仕ります』ギイーと八文字に扉を押し開き、中より出でて會釋をなし 安『愛は不淨門イザ此方へ成らせられますやうに……』先に立つて屋敷を一ト廻り、表門へ參つて 安『ア、伊達安藝で御座る、御開門……』『ハッ』門が開く、見ると石川駿河、片倉小十郎其他ツーと左右に居並んで御定紋の附いた高張りが右と左に立並べてあつた、此時ツカく〈と御前に進んだ安藝 安『……の逸まで兩手を突れて』安『へ、エッ、是は〈御館様には恐々以て御機嫌克う渡らせられ祝著至極に存じ奉る、今朝未明に何方へ成らせられましたか御出迎ひ申上げ奉る』ボンヤリ立つて入らつした綱宗公、始めて迷ひの夢が醒めて『綱、ー安藝、予は大に過つた、其方好きなに取計らひ呉れよ、面目ないぞ』と仰しやつて大地にピタと御平伏、憾て前非に御後悔

んだ小刀の柄前に手が掛ると切腹をなさらうといふ有様、退て周章いて其手をピタリと押へた安藝が 安『是れはしたり我君先づく、お止り遊ばせ、イザ御案内奉る』と先に立つて御案内打悄れて跡から御從ひなされて書院に通つて何に彼と夢の醒めたる心地をいたして面目なげに下俯向いてお出でになる、石川駿河義任、片倉小十郎景長、伊達安藝宗重等服を改めて夫に進み中にも石川駿河は一番前に 駿『借御前、斯ること申上ずとも御事ながら今日は少しお耳を汚さなければなりませぬ、抑も御先祖山陰中納言殿より二十一代の間は御小緑にまし〈朝卿を除きては皆御位は五位に過ぎず、然るに綱宗君の御子息政宗の君岩出山にありて十六歳の若冠ながら二本松左京之進を討ち、美事輝宗公の仇を復し、爾來殆んど五十餘年の間、東西を討ち南北を平げ、一日片時も御心を休ませられず、夙夜枕を思ゐし事なし、盛夏三伏の暑き日には甲の鉢金を焼き、嚴冬霜雪の寒き日には骨を凍らせ、晝は汗馬に鞭打ち、夜は石を枕とし、風雨に掛けて磨き上げたる甲斐あつて、六十二歳を頂し、御位は從三位官は中納言に登り、徳川家に於かせられても格別の御會釋あり、日本三國主の一つに數へられ、世人呼んで……と崇め給ふ、瑞巌寺殿より君に至るまで三代、君又從四位の少將の高官に在らせらる、然らば君の一身は國を興すに足り、君の一動は國を倒すに足れり、此の大切なる御身の上を忘れ給ひ、日夜遊里に御運びあつて遊女女郎に現を抜かし、忠臣を遠ざけ佞人を近付け諫臣を手討ちに遊ばし、是等御不行跡は御本心の業とも見え參らさず、昨夜とても御忍びにて御他行あらせられ、深夜坊間に彷徨ひ給ふ、是れを以て天下の諸侯と仰がれ、鎮守府將軍の面目を全ういたすこと叶ひませうか、イザ、改めて吾々共より御返答を伺ひ奉る』此尾に附いて伊達安藝、片倉小十郎御諷行を以來御改め遊ばせと御諫めを致しました、馬耳東風と今までは聞流した綱宗も今は全く先非後悔の念でございました、くは御落涙の體を噛み、啜なが綱『一同の者、予は近頃赤面の至りに存ずる、此期に及んでは何とも一言の答へもない、アー愚かであつた、許して呉れ、先刻安藝にも申したことぢやが向後を好きなに取計らひ呉れますやうに……』

主婦の手帳より

◇芋羊羹 薩摩芋二百目の皮をよくむいて適宜に切り熱湯で茹で、笊に上げ水氣を去り直裏漉にかけます。次に砂糖百六十目と鹽小匙に輕く一杯とメリケン粉四十目を入れてよく混ぜ合せ別に蒸籠の中に押枠の枠のみ入れ枠の底から樣にかけて布巾を入れて其中に前に裏漉にした芋を入れて上を平に押しつけなら凡そ二時間許り蒸しますさめた頃に適宜に切つて出します

十月廿二日

（旧）八月三十日 木曜日 つちのへとら 四綠 劍辰巳（東南） 先勝 いらく

▼四綠▲纏りのつかぬ日なれば心を落著け能々考へて掛るべし
▼五黄▲一寸迷ひの起る日、誠實なれば引立を受け且利得あり
▼六白▲金錢上のことには殊の外注意すべし
▼七赤▲内輪に不和の起らぬ樣にすべし物事七八分通りは叶ふ
▼八白▲表面のみ好く見掛けの事多き日常業外の事は不可
▼九紫▲目論見を立つる事にも充分念を入れざれば不可也
▼一白▲柔和にして暮さば吉也
▼二黒▲名譽の揚る日にして正しき事なれば願ひ望み叶ふべし
▼三碧▲名譽の高き日なれ共勝氣に乗じて妄進せば却つて不可

皮膚科 外科 專門 扇田醫院 京城太平通二丁目 電話二三五八番

京城明治町 産科婦人科 中央婦人病院 院長 衣笠舜山 電話貳三四〇

人蔘エキス 京城本町壹・電話一四八〇・一八七〇番 ㋡津村兄弟商會

演藝案内

本町一丁目 電話九七四 有樂 喜樂館 當る十月十七日より提供特選映畫 ◯實寫 海上の漁業 ◯滑稽 帽子のお使 ◯伊太利チネス社特作映畫 ヘレンエスペリア夫人自演 ▲印度奇談 毒蜂 全六巻 原名『春の夜の怪事』 說明 石田旭花 …

▲五大力仙太 五千呎 …

京城明治町 電話二六〇 浪花館 當る十一日より毎日午後六時開演 東京落語研究會幹部春風亭柳窓一行 喜劇桔梗家連合同 ▲落語 資典 春風亭柳窓 ▲落語 音曲 桂太郎 ▲落語 手踊 桂笑三 ▲娘義太夫 豐竹 桂枝丸 ▲落語 ステ、コ 桂仕登 ▲娘義太夫 豐竹 春松 ▲落語 音曲 桂東昇 ▲人情 笑話 扇子舞 三遊亭 圓輔 ▲東京落語 桂枝三郎 春風亭柳窓 ▲大切喜劇 桔梗家連

櫻井町 電話八七三 大正館 日本活動寫眞會社代理店 當る十月十七日より特別大寫眞提供 ◯◯滑稽劇『第一試合』 長尺 『横着なる下僕』 長尺 米國ユニバーサル會社大傑作 ルピン・ジーンカルター氏原作 人情劇『ウルフ（狼）』全六巻 …

新派 俠客 旭牛九郎 全四巻 …

軍手卸賣 値段（運賃貴店持） 武百匁品 百六拾匁品 百参拾匁品 壹百打以上の付拾錢引 …拾打に付参拾壹圓 …同貳拾五圓五拾錢 …同貳拾壹圓五拾錢 注文は各品共壹打 滋賀縣八日市町 野村手套製造所

ケンシヨウコウエキス 本剤は諸賓膏院にて大病の……… 東京本舗 京城旭町 東洋藥房

男女頭髪 金牌受領 椿香油 ホマード 毛を黒く長くつやを出し 本舗大阪駒中通一 三宅堂

織元から買へば三割も安い

丸登織物會社 年額五千萬圓を産地の本邦唯一の … 特賣品目 …

栃木縣足利町 丸登足利織物會社 …

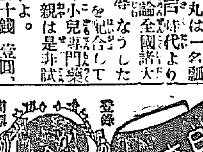
鶉卵配達開始 京城本町一丁目五〇 守山鶉飼育所 電話五四二番

はやり 流行の冬衣

小兒の青使 神功丸 小兒の疳氣は一歳三歳五歳と殆ど連續的にあるが是は小兒が非常に危險で何時死ぬか解らぬを現はす物である、實に小兒病の十中九迄は消化不良が原因で殊に是から陽氣の變り目が最も危險り故心ある母親は排便に注意し青便粘膜樣の便又は便がなくなつたり遠くなつたりした時は乳を吐き…… 神功丸は直に靈藥神功丸で其日に治す…… 東京京橋區槇町 … 神功丸本舗

▲初秋の足袋季節 ＝別珍の大流行 ◇袴子や瓦斯が廢つて段々足袋の … ▲流行品となつた …

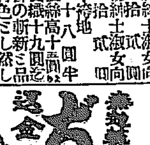
優美なる體裁と實用經濟の三拍子揃つた…… 日本一の別珍足袋 松井商店



▲新織物 でコットンを原料とし之を特殊に製織加工したもので、…

▲萬人向 として …

完全なる專門の藥 … 肛門藥商會 …



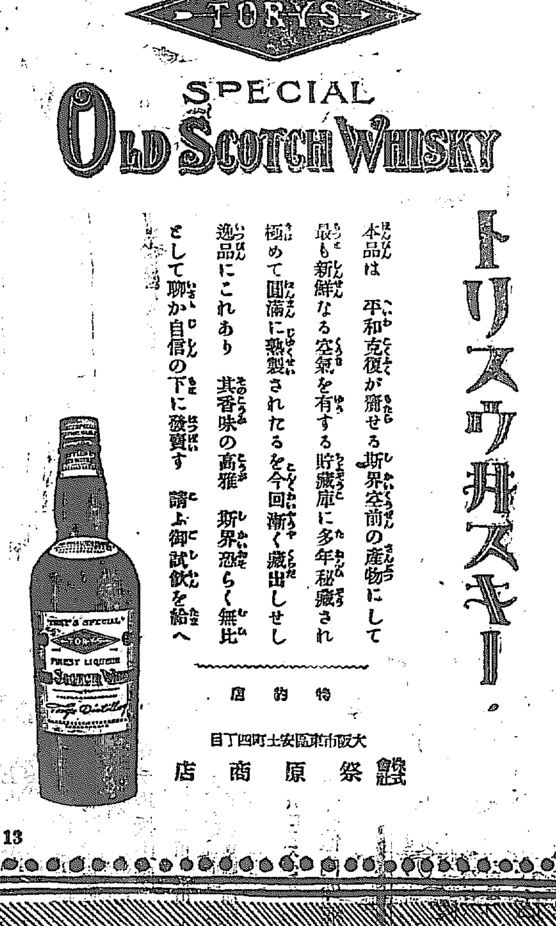
ちぢ 如 …

艶姿 狂態 美人 眞寫 … 優美堂

かぜ ねつを治し解き 發汗鎭痛の効力 強大なる 蛇印 アンチピリン丸 安全第一のかぜねつ藥

■三大特長 最新高貴原藥を配伍す 絕對に副作用なし 胃に溶け易く効驗偉大
■主効 かぜ、ねつ■はやりかぜ■はしか■リウマチス■オコリ■頭痛其他熱病一切の諸症に卓効あり
滿七歳以下のコドモのかぜ、ねつ、には小兒專門解熱新藥「オイン」に限る。
藥價 十錢、二十錢、三十錢 ▲全國各藥店に取次す 本舗 大阪 東京 丹平商會藥房

優良化粧用 アカシヤ石鹸 ACACIA SOAP 大丸 萬玉洋行



トリスウヰスキー

本品は平和克復が齎せる斯界空前の産物にして最も新鮮なる空氣を有する貯藏庫に多年秘藏され極めて圓滿に熟製されたるを今回漸く藏出しせし逸品にこれあり 其香味の高雅 斯界恐らく無比として聊か自信の下に發賣す 請ふ御試飲を給へ

特約店 大阪市東區安土町四丁目 鐵祭原商店

13

金鶏香水

金鶏香水は佛國巴里に古い歴史の有るリゴード會社が各位の御嗜好に適する樣苦心製出し初めて發賣致しましてから以來卅有餘年幸ひ皆樣から品質に於て香氣に於て價格に於て非常な好評を賜り年々其賣上高も激增致して居ります、以前は香水を形式的に無意味に使はれて居ましたのが社交上衛生上飲ゝされぬ事が了解せられ又一面には其金鶏香水が療法にも有効なことが最近發見されハンカチに御召物に用いた金鶏香水の一滴から發散する芳香は人も我も快感を呼ぶと同時に身体内外の殺菌消毒作用を有つて居る事を實證されました萬望益々御愛用を賜らんことを

日本總發賣元 大崎組商會 花王石鹸會社代理店 香水石鹸類大阪東京代理店 京城 長瀬商會

第五版

京城日報 (無休刊)

發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 長六千九番 一長六千九番二 振替京城三〇〇番

京城日報

速に迷夢を破れ(下)

日韓の併合は、實に斯の如き事情の下に、兩國元首の間に十分なる理解と協商を遂げ、主權の移受行はれたるものなれば、苟くも日本帝國にして東洋に儼立する間は、即ち大和民族をして海島に雌伏せざる限りは、帝國の朝鮮に對する主權は、絶對に確立して如何なる力も、之を破ること能はず、之を沮むこと能はず。然らば朝鮮人たるものは唯大勢に鑑み、進んで大勢を利用し、新日本人として自發し、向上し、智德を研き資力を增し、其の繁榮と發達を圖り、深遠なる聖旨を奉體して東洋の牛耳を執り、東漸する西勢を退治し、高尚なる東洋固有の文化を四海に布き、東西の文明を調和せしめ、人類の幸福を共同ならしむる大使命と大責任を負はざるべからず。然るに今日の朝鮮人は此の光輝ある使命と責任を忘却するのみならず、蟷螂の斧の愚を敢てし、牛中に死を求めんとするは、實に不可思議の心理狀態と謂はざる可からず。

諒莫あれ、吾人も一より十まで日本人を讃美し、總督政治を謳歌する者にあらず、寧ろ日本人中或者の朝鮮に對する從來の態度を斥け、總督政治の幾分不徹底なりし點あるを憾むものあり。乘て朝鮮青年をして自覺無ければ已む。若し自覺ありとせば其國家に對して、相當の認識と擁利を要求するも亦當然の事たるを深く信ずる者なるも、唯茲に區別を嚴立せんとするは、吾人の各種の要求と向上は、飽く迄日本の統治の下に於て、日本人として要求し、向上せんとするに在り。若し朝鮮人たる者が此の大勢と理法を無視し、妄擧なる狂動を爲すあらば、彼は其夢みる所の理想を遂げざる前に、國法を紊し、朝綱を亂る者として、至嚴なる三尺の敵すべからざる所となり、延いて禍累を同胞に及ぼし、內外の罪人たるをや、豈に寃惜せざるべけんや。

然れども顧つて之を思へば、從來の朝鮮人は、實に可憐なる狀態に在り或點に於ては繼子扱ひも受け、或點には愛情を缺ける夫婦の如く、空閨に泣くものなきにあらざるも、而も是豈に所合の本旨ならんや。又至仁至慈なる天皇の大御心に出で、賢明なる當局と內地識者の故意に出るものならんや。果然聖上におかせられては、明運と世態の變遷に鑑み官制を改革せしめられ、明詔の下し共に適從する所を示させらる。齋藤總督以下、亦聖意を克體して、文化的德政を布かんことを誓ひ、鋭意民論を容るゝの政治を實施せんとしつゝあり。內地の一般輿論も亦翕然として朝鮮人に同情し、援助し、舊日の狀態を一變せんとし、反つて內地人をして朝鮮人の慢心を促ぜしめるかを恐れしむるに至る。朝鮮人たるもの理智あり誠忠あらば、感に感激し、奮勵して、其前途の幸福を招くに汲々たるべきなり。然るに不幸蹉跎に反して常情を以て忖度し能はざる現象を見るに及んでは、實に啞然たるを禁ずる能はざるなり。

春生秋殺は天職にあらざるなし、彼らに恩に狃れ、威あるを忘るべからず、又威にのみ慴れて、恩あるを忘るべからず。親愛なる朝鮮同胞よ、諸君[illegible]あらざれば醒れ。諸君、[illegible]らざれば醒めよ。好生は[illegible]の常情なり、諸君は、[illegible]を自取し、好生の德に[illegible]虎鬚を捋づるの愚を演ずるか。從來禍と福とは其間髪を容れざるものあり、賢明なる諸君にして、其の禍福の機を審かにせざる者と認むる能はざるも、恐らくは啼兒が慈母の懇誘に應せず、畢竟叱怒を招くと同一なるが如し。吾人は重ねていふ、諸君が迷夢より醒むるの日が、即ち諸君の悔悟の時なると同時に、諸君の幸福の日なる事を。大道は親なく王法は偏なし、春の雨露と、秋の霜雪が並行共存するを瞬刻も忘るべからず、諸君の前進すべき針路は吾人の喋々を待たざる所なるべし。

歐洲戰亂に於ける 我海軍の作戰行動(八)

鎭海要港部參謀 矢持大尉講演

然るに智利沖の海戰に依つたことは全く杞憂に過ぎなかつて夫れが直ちに撥立てられたのである。其の後大正五年五月末ジュットランド沖に於いて英艦隊は敵を認めるや否や、猪の如く突進し大海戰を始めたが其の結果は御承知の如く大きな艦を三隻迄も撃沈せられて仕舞つた。是れには流石の英國民も驚いた、さうして英國の輿論には馬鹿が居る、軍艦や乘組員を斯うむざ〳〵失はれては堪らぬと云つて輿論が八釜しくなつた。所が或る一派の人々は斷然輿論に反對し『そんな愚論を吐く奴こそ馬鹿だ、此の馬鹿者等は英國の成り立ち並に歷史を知らないのである』と叫んだので一時沸騰した輿論も其の儘鎭靜に歸したと云ふことである。

さて獨逸東洋艦隊は英艦隊に對しては勝を得たけれども我が第一及び第二南遣枝隊、遣米枝隊、英國濠洲艦隊等の爲めに益々攻め立てられ、此時敵の別働隊のコルモランはカロリン群島內に潜伏して居たが第二南遣枝隊に壓迫せられて十二月十四日グアム島に逃げ込んで武裝を解除し、他の主力は破れかぶれに大西洋へ廻り、フォークランド島にスターデー中將麾下の英國艦隊が碇泊して居る所へ向つて攻撃を始めた、敵が何故自ら進んで英國艦隊を襲撃したか其の理由は今に不明であるが、英艦隊は智利沖の讐を報いる積りで優勢な艦隊を揃ねて待つて居たのだから疲れ切つて居る敵が是れに勝てよう筈がない、併し此の戰鬪は五時間に亘り敵は艦は破れ彈は盡き如何ともすべからざるに至り然る後主力艦隊は自ら爆沈して司令官以下殆んど全員祖國に殉じドレスデン及びプリンツ、アイテル、フリードリッヒの二隻だけは戰線から脱出して行衞を晦ました、實に敵ながら天晴の態度であつた。敵の二艦が辛ら漏らされて行衞が判らなくなつたので遣米枝隊の外に常磐千歳の二艦は敵の殘艦に備へる爲めに北米の西岸に派遣せられたが大正四年三月十日プリンツ、アイテル、フリードリッヒは米ユーポートニュースで武裝を解除し、ドレスデンは同月十四日智利ファン、フエルナンデス島で英艦に擊沈せられたので常磐だけは本邦に歸還した

生別死別

〔不許無斷興行〕

服部硯月

第廿七 路病死者

鴨綠江の戰勝祝の爲め市中は櫻花やら、提灯行列やらでどよめき亘る聲が手に取る如く聞える。此處は瀧本の町外れ、千反畑の或る杉垣の根元に何者か、蟲の音の如きうめき聲が聞ゆる。時は五月九日の夜の十時少し過ぎ。雨は降らぬが空はどんより曇つて星の光り一つ見えない。通り掛つた一人の男が、蟲の息を便りに、忍足に近付いた、そして周邊に氣を配り懷中電燈で蟲の息のある方向を照らした。髮は百日鬘のやうに髮毛ぼうぼう、見るからに瘦せ衰へた四十餘りの乞食態の男が今にも瀕死の有樣である。近付いた男は耳に口を寄せて呼んだ。

『もし〳〵どうしたんです？』

病人は[illegible]返辭をへしない[illegible]又呼んだ

『もし〳〵』

併し更に感じない。觸れて見れば手足はもう大分冷たである。今は息さへ通はない。

『こりやもう駄目だ!』

男は杉垣の內に這入つて家人を起した。

『もし、誰人でも宜しいが一寸起きて下さいませんか、別に怪しい者では御座いません、一寸物をお尋ね申したいんですが』

中から五十恰好の男がのそり出て來た。

『何か御用で御座いますか』

『今お宅の前を通りますと、門口に倒れてゐる者がありますが、何處の誰か一寸見て戴き度いのですが……』

主人は不精々々出て來た。男の差出す提燈の光に一眼睨で

『はア此の男ですか、可介な奴が、人の門口に寢やがつたものだ、何處か追拂つちまう』

『此の男を御存知でせうか』

『何處の者か知りませんがね、十日許り前からひよつくり遣つて來て、臺所に來ては物をねだつて近所でも持ち餘してゐる乞食です』

『さうですか、有り難う御座いました、實は夫れを承り度いと思ひまして』

主人は不審さうに男の姿を凝視めた

『貴郎は御知り合でゝもあるのですか』

『いや、何』

『オイ、こらッ、起きんか、此所に寢やがつて、何處かへ行つて呉れ!』

主人はつッけんどんに行つて乞食の側に寄る。男は制して

『殺ら起しても起きますまい、もう死んでるやうです』

『わッ、死んでる?、困つた奴だ!縁起でもない!』

『私が見付けたのですから、私が警察に屆けて來ます、貴郎も此處に居られると懸り合になりますから、どうかもうお慈悲………』

『では何卒お願ひ致します』

主人は結句僥倖と家に這入つた。生ぬるい風が闇を流れて、生垣の若葉がさら〳〵と鳴る。

婦人界 十一月號
衣服改良に閑却して居る根本の問題 尺幅一反を改廢せよ
日本人全體で一ヶ年一億圓以上の損をしてゐる大問題 衣服に最も關係の深き婦人の見逃しならぬ大文字
○現代婦人の新生活 赤司局長 ○世界風邪の話 藤井學長 ○子供の罹り易い病氣と處法 ○兒童虐待の罪を裁く ○大幅物が裁ちちる ○新案前袂附き袴 赤司ちか子 ○銘仙もの お召の見本 川崎留五郎 ○馬鈴薯の料理 倭文子 ○經濟で美味い料理 木村利根子 ○大切な十一月の家事 塚本濱子 ○內國展覽會參觀記
自殺を企てる百數十名の女を救ふ
悲慘な生活から
誘惑から救はれた實例
私の知つてる美しい家庭
△長篇講談 碓の梅ヶ香 △長篇 つかねた緒 △小說 心の扉 △小說 曉星 △新詩 松前唄 △家庭小說 偶然
發行所 東京市麴町區 東京社 振替東京四九〇番

長谷川闊藏先生著 泣いて笑つて五十年
發行 東京市麻布區 國民書院

日本で初めてカード式 商業英語通信教授 二千字會
効力實ニ恐ルベキ 英語通信教授 五千字會
(單語の研究なと誤解する勿れ)
會員生六千餘卒業 目的二千の商用語の活用 一日二錢 卒業六ケ月 程度 商業學校卒業程度 萬人向 特典 見本無代進呈 東京市芝區愛宕町二ノ一四 商業英語二千字會
會員生一萬餘卒業 目的 一日二錢 程度 中學卒業以上 萬人向 特典 見本無代進呈 東京市芝區愛宕町二ノ一四 英語五千字會

主婦之友 十一月號 夫婦奮鬪號
陸軍大將男爵神尾光臣氏を相手取り扶助料請求の訴訟を提起した 神尾大將と小間使事件(詳細發表)
生活難に勝つ奮鬪的夫婦 夫婦共稼
無間地獄の如き運命に泣く 若夫人の手紙
親子五人が同時に自殺した 箱根の慘話
肺病根治
世界改造と婦人の覺悟 貧者と戰つた千萬長者の母 赤坊離乳の理想方法 簡單で面白い色差絞の長襦袢 自分で出來る美顏術の仕方
長篇小說 金扇 渡邊霞亭先生傑作悲劇小說 大評判の小說は本號より益々面白し
定價三十錢 半年一圓八十錢 發行所 東京神田表神保町 東京家政研究會 振替三三七八六番

大歡迎忽五十版 新聞演說集 日本青年通信社

宮內省御用命 リノリウムに優る補床材料 專賣特許 練革床 高石商會京城出張所 京城櫻井町一ノ八八

活動名優寫眞帖 花形、臨時增刊
多年苦心して集めた活動の人氣俳優百數十名の寫眞と委しい傳記及珍話
これ迄のやうなありふれたものではない。人氣俳優百數十名を選び俳優の寫眞に委しい傳記や逸話珍談がある
三色版表紙・二百餘頁・定價八十五錢送料三錢
玄文社發行 振替東京一四一七七

株式現物賣買 有價證券現物專業 ミ田 井上梅太郎商店 大阪市東區北濱
地方部新設 遠隔地に於て居ながら確實有利而も時機を失さる遺憾なき便法あり 「ハガキ」御照會次第內規送呈仕候

江間俊一先生著(第四版) 江間式心身鍛錬法 元氣術合術之原理
發行所 東京市小石川區 江間式心身鍛錬法後援會

谷田式 鐵筋混凝土耐火用金庫
絶對耐火 絶對堅牢 價格最廉 (説明書贈呈)

朝鮮一手販賣 松若商會 京城本町三丁目 電話一四九三

警告!! 用心に過ぎれば機會を逸し甘口に乘れば大損をする 先づ起業諸計算書を見て眼光紙背に徹せられよ
會社目論見書の見方 總クロス函入美本 定價金一圓五十錢 直接注文送料不要
初版再版賣切 三版發行
發行所 東京市麻布區 中外經濟社

學生募集 京城自動車講習所
規則 注意 京城府黃金町二丁目角

京日案內
模範全乳 東亞牧場
汽罐 コールニユン 電力モーター 精米機 中根商會
拾得金公告 本町警察署
從業員數名募集 漢江製飴所
鑄物職工見習募集
事務員募集
京城殖產會社
田畑賣物
乳母入用
質屋新築移轉
得意廻店員入用

米國元老院否決

華盛頓來電米國元老院は三十六票に對する五十五票にて山東に關する利權を日本より代るに獨逸より直接支那に還附せんとする修正案を否決したり更に第二修正案は保留すること賛成すべしと說けり（桑港電報）

波羅的問題公表

波羅的沿岸問題に關する聯合國調査委員の報告發表されたるが右によれば今回聯合國が最強硬手段を執るに至れるは必ずしも獨露兩國間に祕密協約成立して兩軍行動を共にしたるがためにあらず又聯合國レット軍に對して何等戰意を有するものにあらずこせり獨國民は大いに此報告を歡迎せり一方ヴエルサイユに於ける獨逸講和殘務委員は波羅的海灣に於ける船舶抑留行爲に對し最も強硬なる抗議を提出せり（倫敦電報）

獨軍一部撤退

伯林來電によれば一萬五千の獨軍は波羅的沿岸地方より撤退して獨逸に歸還すべき旨承諾し其一部は既に到着せり然れども此數は同地方に於ける獨軍總數の三分の一に過ぎず現に約三萬五千人は露軍に加はり居れりと云ふ（倫敦電報）

佛國下院選擧期

佛國下院選擧期は十一月二十二日に確定せり（巴里電報）

八時間勞働反對

巴里より斷報して到著せる電報によれば佛國民の總ての階級は對外爲替相場の益々危機に瀕しつゝある狀態に關し甚深の憂慮を抱くに至れり即ち八時間制勞働が輸出入の不平均を救治すべき唯一の方法たる生産增加の勢ひを阻止しつゝあり今日佛國貿易が非常なる程度を以て輸入超過を示せるは是れ全く八時間制によれる生産減退に基因すと認め次第に反對の氣勢を高めつゝあるもの如し（倫敦電報）

レット軍の前進

レット軍はツイナ河を渡渉し前進しつゝあり（巴里電報）

周正式內閣說

正式內閣組織につき頻に消息通間に風說唱へられつゝあり或は周樹模說を唱へるに至り政府當局は之を打消しつゝあるが此の風說の根據は過日總統と朱宋落この間に會見密談せられしに出づるものなり（北京電報）

外米代用廢止

外米代用制度は十二月限にて廢止の旨發布さる（東京特電）

小洋票漸落

新財政總長更迭と共に北京政府より大小洋票を取寄せ之を濫發せんとする模樣あるため一時金百圓に付き百五十元に昂騰せる小洋票は本月に入るや漸落し官銀號の幣制整理監督官廳の氣配に關し盛んに論議されつゝあり

支那講和條約追認如何

米國上院に於ける山東修正案否決の結果當然問題となり來る可きは支那側の條約追認如何に在り今回の山東案否決に依りて支那國民の反對熱を幾分緩和せる傾向あるは北京政府に取り稍や佛の感あるも追認を決行し又は山東問題の日支交渉に入るは極めて難事業に屬す

米國上院形勢 は山東問題に於ても更に留保案出づべしと云ひ國際聯盟修正案其他未決事項多きを以て支那側は尙是等一切の解決を了し條約批准の可否決する迄は現在の態度に變更を見ざる可く假令米國の批准完了後と雖も山東問題に對しては之を國際聯盟に提議すべしとの說と條約追認を行ひたる上速かに日支交渉に入る可しとの說との二派に岐るゝは必然也然も山東條項は英、佛、伊三大國既に批准を終り條約の効力發生したるのみならず米國は講和條約に調印して日本の權利を承認し居るを以て若し支那が日支交渉に入りたる後に條件の協定行惱める際之を日支間の係爭問題こして國際聯盟の審判を求むるならば格別然らざる限り國際聯盟は交渉開始前の諸問題を受理する事絕對になし而して日本側に在りては帝國の批准完了と共に直ちに支那政府に向つて日支交渉の開始を催告する方針なるが

其際支那側が 政府の意志を以て交渉拒絕を爲したる場合は日本は外交上の折衝に依り更に交渉を進むる餘地あるべしこ雖も支那政府の意志が明かにせず單に民間輿論の取次者たらば交渉は頗る面倒こなりて勢ひ相當の時機を俟たざる可らず又日本は政治上の見解に於て支那が條約を追認批准するこせざるこに拘らず日支交渉を開始するに妨げなきも實際問題こしては支那側に多大の不利益あるを免れざる可し支那が俄に條約批准を拒否し大正四年の日支協約の決定を否認せば山東問題は講和條約の決定以上に進捗せず支那の自覺ある迄は日本が之を保有する外途なきに至るべしこ某消息通は語る

朝郵新造船計畫

五隻五千噸の註文

朝鮮郵船會社にては明年四月より命令航路の更新せらるゝこゝなり年限失せし船舶補充の必要上今春來新船建造の計畫を樹て研究の結果愈近大阪に於ける重役會議にて決定を見たるが新船の建造は五隻約五千噸にて內譯左の如し

- 浦鹽大阪線就航 一千二百噸級貨客船一隻
- 雄基門司線就航 一千噸級貨客船一隻
- 元山雄基線就航 七百噸級貨客船一隻
- 釜山木浦線就航 二百噸級貨客船一隻

然るに造船界は目下船舶の新造盛況を呈し神戶川崎造船所並に長崎三菱造船所にては到底引受けの餘力なき由につき多分大阪の造船所に依賴する事となるべきも尙ほ決定せず但し年內には全部の契約を終り明春までには引渡しを受くる豫定なる如し又船價は噸當り五百圓より七百圓を要し平均六百圓見當なるべく右新造船に要する資金は三百萬圓內外なるが右は未拂込の徵收百五十萬圓並に積立金增資新株の拂込にて支辨する模樣なり唯註文即時には多額の支出を要せざるにつき積立金にて十分なるべく結局未拂込の徵收並に增資は來春二月頃の豫定なりと

面吏員增給に就て

內務局第一課當局者談

近來物價騰貴の趨勢は殆ど停止する處を知らざる有樣で中產階級以下の者の之が爲め生活難を訴へて居る事は周知の事實であるが殊に一定の俸給に依りて衣食して居る者に在りては更に甚だしきものありこ思はれる面吏は由來極めて少額の給料を支給されつゝありしを以て其窮狀殊に甚だしきものあるべきを思ひ先年來之れに對しても

相當の方法 を講ずる事に腐心しつゝあつたのである。面吏こは其の趣きを異にし又面吏の給料の增額は直に面民の負擔に影響するのであるから一般官吏こ同樣に增給する事は困難する處であつた併し現時物價の狀勢に於ては尠くも一般吏の程度に增給するに非ざれば其の生計を營む事甚だ困難なるべきを思ひ先日道知事會議に於て總督より指示せられたるが如く多少增給の途を講じ即ち一方に於ては面吏員給料の

標準を撤廢 し他方或程度迄の賦課金の增徵を認めたのである從來總督府に於て面吏員給料の標準を示して居つたのは元より過渡時代に於ける一時的方法に過ぎないので面制施行の當時に於て各面をして其の據るべき大體の標準を知らしむると共に他方に在りて甚だしき軒輊なからしむる事を期したのであるが面制施行後既に滿二年を經過せるを以て各地方共に最早大體給料額に對する基礎觀念も出來た樣であるし又面吏員の給料の如きは元より面の實狀に依つて

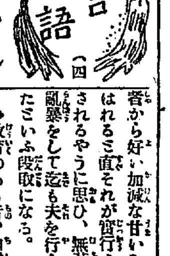
多少の差等 あるは當然の事にして必しも一律に之れを定むる必要がないのである依つて今回此の標準を撤廢して各地方に適應したる額を支給する事に便宜を與へたのである併し一寸考へるこ從來此標準があつた爲めに面吏員の給料を昇す事が出來なかつた樣に思はれるけれども實は決して左樣では無く却つて面財源が乏しかつた爲めである現に相當の財源さへある處に於ては標準以上の額を支給する事も認め來つたのである又各道の狀況を見ても其の支給額は大部分

此の標準額 以下になつて居るのである故に今回此の標準を撤廢しても面に相當の財源を與ふるにあらざれば到底面吏員の增給は企圖する事不可能なるを以て一定の限度に於て賦課金の增徵を認めた次第である今回の增給は大體官吏の臨時手當に準據したのであつて元より是を以て十分こ曰ふ事は出來ぬ或は却つて其歷の大にして其據の小なるが如き感があるかも知れない併し前にも述べた如く面吏の俸給を計らんとせば直ちに面賦課金を增徵せねばならぬので左無くとも相當に多い

面民の負擔 を一層加重するこもなり又面吏員は一般官吏こは異つて面ミ云ふ公共團體の內の先覺者たる一員が其の面の爲めに盡力するのであつて云は、自分の仕事を自分でする樣な者で面の爲になる樣な仕事をすれば自分も亦其利益に浴する事が出來るのであるから其地方先覺者の面に對する業務こ思ひ給料等には重きを置かず盡力する事が當然であるこ思ふ是が爲めには勿論面民一般も其考へを以て面吏員に對し相當敬意を拂ふ樣にしなければならぬ事であらう又

今回の給料 增額の爲めには面民の負擔が增加するのであるが前にも述べたるが如く是れは誠に止むを得ざるに出でたる次第であつて之れも尙充分なる報酬こ云ふ事は出來ない樣な狀態になるのである故に面民の方にあつても其の事情を酌量して多少の負擔增加の如きは忍んで貰ひ度いと思ふのみならず其の報酬の足らざる處は一面吏員に對する尊敬と云ふ無形の報酬を以て補つて貰ひ度いと思ふ云々

緩言急語（四）



隱す處勿かれ

小松綠氏（談）

◆近頃朝鮮でも大分新聞が出來さうな噂があるやうだ、兎に角既早言論の自由は或る程度まで認めなければならぬ、時代が時代だ。

◆露西亞の革命は、私に言はせれば言論の自由を絕對に抑壓したから起きた、詰まり露西亞人が新聞によつて時事に關する知識を得可き機會から遠ざけられて居た、その爲めに共產主義の者から好い加減な甘いことを言はれると直ぐそれが實行され得るやうに思ひ、無茶苦茶な亂暴をして迄も夫を行ふこといふ段取になる。

◆教育のある者、知識のある者は惡いことをしたところで程度は知れたものだ、ところが無教育者の行り方は全然常識を逸することをする所謂馬鹿が一番怖い所以だ、時事に關する知識を公衆が充分に持つために新聞が必要でありその記事は或る程度まで自由で無ければならぬ。

◆朝鮮は昔から流言蜚語が普通のやり方だ。口から口へ噂が傳はるのが一番怖い。針小棒大、火の無い處に煙を見せる。此間の水原事件にしても軍隊が殺したといふから亂暴なやうに思ふが、夫迄の經路を詳しく聞いて見れば頷かれる點が多い。寧ろ人民の方で警官を虐殺したことが導火線になつてゐる。凡て事實の充分な說明を缺いて誤解が大きくなる、その事實の充分な說明を與へるのは自由な言論機關に俟たねばならぬ。

◆私は、併合の歷史、當時の事情なども鮮人に知らせてよいと思ふ。さすれば人民の無智に乘じて虛構の事實を流布し煽動するやうなものが無くなる筈だ。民衆には正確な知識を與へて置く必要が有る（東京支局）

京畿麥作實收

京畿道管內本年度麥作收穫高は六十八萬四千九百十七石にして其作付反別九萬四千九百六十町歩なり之を大正七年度に比すれば收穫高に於て三百二十石の減作付反別に於て四千七百三十五町歩の增を示せり收穫高の減少は旱害及び出穗時の天候不良の爲めにて作付反別の增加せしは穀價の騰貴に伴ひ食糧作物の增加をなせしに因る本年度收穫高及作付反別の內譯を示せば左の如し

	反	石
京城府	五五	五二
仁川府	一六四	一三一
高陽郡	一四、五六九	一〇、〇一三
廣州郡	四五、五二一	三九、三五四
楊州郡	七一、七四六	四二、九〇六
漣川郡	八三、二〇九	四六、七二七
抱川郡	四二、四一七	三五、二六九
加平郡	一八、八五九	一八、三三一
楊平郡	三七、二〇〇	三六、三五三
驪州郡	五三、六二二	二六、五八一
利川郡	四五、三三三	三一、四五六
龍仁郡	四〇、一二六	三四、四五七
安城郡	三六、九四五	二七、四三二
振威郡	五〇、八〇六	四一、一七五
水原郡	一〇二、七七三	六八、一二七
始興郡	三〇、五九五	二三、四七八
富川郡	四七、六〇二	四七、五七九
金浦郡	四三、六八六	二八、三三一
江華郡	二六、六八二	二〇、一〇三
坡州郡	四三、一五一	三一、三六二
長湍郡	五三、六三三	二九、九〇七
開城郡	五七、八四八	四五、一二〇
合計	九四九、六一〇	六八四、九一七

勞資協調の必要

滿鐵社員增給問題解決か

＝中西滿鐵副社長の談

中西滿鐵副社長は久しく東上中の處二十一日夜歸任の途入城せるが其の談に曰く

滿鐵の增資に就ては予は政府に交渉せるにあらずして陳情したるなり從つて政府の意向に對して今俄に付度を許さゞるものあると同時に其の許否に就ては一に政府の指揮を待つあるのみ然し乍ら滿鐵諸事業の進展に對し資金の要あるは今更多く言ふを要せざるべし余は來月初旬再度東上する豫定にて今次の歸還は全く其目的こする所滿鐵社員の增給問題の解決にあり增給は

既定の事實 にして近來或は余の東上する迄に實現すべき運びこならん尤も本問題も其の影響する所可成り廣く俸給の爲め却つて物價の昂騰を助長する如き結果を見ずとも言ひ難く增給に次ぐに物價の昂騰を以てし兩者互に相循環するに於ては遂に其停止する所を知らざるに至らん然し此の種の傾向は內地に於ても或る方面に看取せらるゝ現象なり而して獨身者有家族者こ同率に增給すべきものなるか又は將別個の取扱に出づべきかに就ては隨分考慮を要したり思ふに單に物價騰貴せる故增給すと云ふ事は其の結果より見て執るべき

唯一の良策 なりとも思考し難く其の間購買組合等の制度を更に改善有効ならしむるの餘地なしこせず滿鐵が新設の計畫ありと云ふ社會課の如き其の職能こして此種の問題や其の他勞働問題の解決に任ずる所あるならんも適當の人物を得難く現下の所にては社會課の如きは未だ問題こして具體化せるものにあらず內地の勞働問題殊に八時間問題の如き嚴正に分秒を云爲する純八時間の勞働を意味するものなるか或は工場勤務時間に加ふるに通勤其他雜用等の如き時間を含めるものなりや何れは

勞働會議に 於て決せらるべきならんも今一段の鐵道の如きは勞働能率を測定し得べき機械工場に於て提唱さるべき問題にしてかの鐵道線路見廻りの如き職務には其の勞働能率の測定なかなか困難なるものあり現時一般財界好況にて勞働者の爭奪もあり給與も良好なるも一旦不況に陷りたる場合をも考へ勞働問題は宜しく勞資相互に相諒すべからざる協調し得る限界線上に其の解決點を見出さゞるべからず

巡査懲戒規定

朝鮮總督府巡査懲戒規程は二十一日總督府令を以て公布即日施行のこことなれるが其全文左の如し

第一條 朝鮮總督府巡査の懲戒を受くべき場合左の如し

一、職務上の義務に違背し又は職務を怠りたる時

二、職務の內外を問はず警察官吏たるの威信を失ふべき所爲ありたる時

第二條 懲戒は左の如し 一免職 二減俸 三譴責

第三條 減俸は一箇月以上五箇月以內月俸の百分の二十以內を減ず

第四條 巡査に對する懲戒は道知事、教習中の巡査に對する懲戒は警察官講習所長之を行ふ

支那留學生通過

劉課長語る

今回日本に留學を命ぜられたる支那留學生四十名は教育課長劉成志氏に引率せられ十九日鄉船にて下關着直ちに東上せり其の際劉課長は語る『今回の留學を命ぜられたる四十名の學生は各省より選拔せられたる生にて留學期間は一年三ケ月の豫定なるが先づ三階の一間東京に於て日本語を研鑽の上二十二名は遞信事務を研究すべし』と（關門支局）

內野少將動靜

內野第四十旅團長は副官一名を隨へ二十一日午前十一時三十五分來田下旅團に入りたるが行程は第三大隊の夜間演習を檢閱し翌二十二日午前三時より兵營の檢閱をなし夫より第八十聯隊の金泉附近に於て擧行すべき秋季野外演習檢閱の爲め同日午前一時三十五分大田驛着南行列車にて出張すべき淨法寺師團長一行に加はり同方面に赴き二十四日歸龍の豫定なり（大田）

○京畿魚市場賣上高 客月京畿道管內に於ける魚市場賣揚高は合計三萬六千七百八十七貫價格八萬三百三十六圓十錢なるが內譯を見るに京城魚市場一萬五千零四貫價格三萬四千三百二十圓龍山水產株式會社五千二百八十貫價格一萬二千二百二十五圓十錢京城日の丸水產株式會社七千七百六十六貫價格一萬八千四百十六圓二十錢仁川水產株式會社八千七百三十貫價格一萬四千八百四圓

東京期米低落

利合適用米買方警告說にて廿一日東京期米は三十九圓三十錢に低落せり（東京至急電報）

支那將官通過期

二十八日橫濱沖に於て擧行さるべき海軍大觀艦式參觀の爲め支那海軍部より海軍中將李鼎新同少將陳恩燾氏の外隨員三名從者二名の一行は二十一日北京發東京に向ふ途中二十三日午後七時五十分京城通過すべし

人事消息

△中西滿鐵副社長 二十一日夜入城朝鮮ホテルへ

△鈴木東京自動車學校長 二十一日夜退城

△三島太郎氏（殖銀頭取） 湯沼に滯在中なるが容態良好の方なりと

△毛利清雅氏（殖銀理事） 今回退

烏瞰錄

△寺內伯が怪特代の秘書官で在た池邊龍一君目下外遊中で最近英國から蘇蘭に朝鮮の松蛅蟖によく似た蟲が居て盛んに松を枯らして居るが比較研究して見たら面白からうと山林課の某氏に宛てゝわざ〳〵知らせて來た△之も外遊中の林務課長バンクーバーから加奈陀の森林を通過して東行の途中今更ながら朝鮮の山林と比較して羨望に堪へぬと切りに感嘆した便り△西村殖產局長の執務振りは『其日の事は其日に』と云ふ標語の下に裁決するので氣持のよい程仕事が運んで行く机上の未決書類を止めやうと云ふのが君の自慢△電話の操手の横柄は至る處聞く事だが總督府の電話となると通話者の暗礁と目されて居る殊に飜弄係と云ふ珍妙な係があつて少し文句のある客だと思ふと聞くに堪へぬ言語を以て飜弄するには全く以て降參する

◆大好評本コール天堅牢無比

天馬ジボン

本品は尤も實用好適品にてイヤになる程丈夫のコール地中古物の良品なり個數に限りあり一時も早く御注文を乞ふ

洋服外套 マント 定價表 無代送呈

コール天色合茶鼠大中登足に付特價金壹圓八十錢より金五圓內外 御見積價格申添御下命次第吟味送品可申上候

東京神田東龍閑町十九 Ⓜ米山商店 振替東京一六九九八

十月號

本年夏相場の三限喰合ミ株價の關係圖表

▼東京株式取引所定期取引出來高表（本年夏相場）

▼主要株十種平均値段高低（足取）表

東京を中心させる郊外鐵道電鐵株比較調査

▼東武鐵道株—東上鐵道株—武藏野鐵道株

▼京濱電鐵株—玉川電鐵株—京成電軌株

▼王子電軌株—京王電軌株—城東電軌株

財界の大勢を論ず

會社評論

▼富士水電株の收益增加 ▼上毛モスリン株の增資 ▼諏訪工業株の現況と將來 ▼桂川電力の今期と前途 ▼扶桑海上保險株の實質 ▼日清紡績株の今期と增資 ▼東京輸出メリヤス株の有望 ▼大連取引所の新設

經濟雜誌 富

英米株式市場の商況 ▼紐育取引所市況 ▼倫敦取引所市況

株式現物利廻表

利殖實例（證券株實買と交換 ▼相談部と仲介部新設）

最新株式投資法講義

最近の花形株

▼東株の增資說 ▼郵船の積立配當說 ▼糸扁買ひの金扁賣 ▼大日本紡の拂込徵收說 ▼兩毛紡織株の人氣 ▼紡績砂糖株の躍進 ▼日本玩具奔騰 ▼船渠と扶桑海上保險 ▼共同火災增資增配

▼定價一部金廿五錢 半年分前金壹圓五十錢 一ケ年分前金貳圓五拾錢 振替口座東京四八〇八八番

東京市日本橋區楓河岸 發行所 利殖研究社

●新債券 七十一圓（送料一口十二錢） 三回通十五錢 いよいよ十一月一日くじ（千圓二十本 百圓一千本）

●組合券 毎く樂しめる組合券一口をお求めなさい（送料當社持）

株式會社 勸業債券月報社（本店日本橋 勸業銀行構內） 福岡支店 福岡市博多下呉服町 電話一五四五 振替福岡九五五〇

朝鮮彙報 大正八年拾月號 定價廿五錢郵稅二錢五厘 廣告料一頁七圓

○口繪 ○總督諭告 ○總督訓示 ○調査及研究 ○文記其他の證書 ○雜錄 ○海上霧の豫報 ○統計 ○朝鮮の救荒植物

謹告

謹啓時下秋色相催候處尊堂倍々御多祥奉慶賀候陳者弊店儀永年深甚なる御愛情御引立を蒙り寫眞器械材料商相營居候處他の業務の關係上今回誠昌堂島田利吉氏に讓渡候間今後は同氏營業上倍舊の御眷顧を賜り萬事御指導被仰付度願上候先は永年御引立の御禮旁御紹介申上度如斯御座候 敬具

京城明治町二丁目六八 長崎屋商店

謹啓陳者弊堂儀今般長崎屋商店從來の經營に係る寫眞機械材料商を繼承し店舖其儘讓受け特に新進の努力を以て誠一貫業務の發展を期し度候間格別の御愛顧御指導の程伏て御願申上候先は右御披露迄不取敢紙上御挨拶申上候 敬具

京城明治町二丁目六八、六九（長崎屋商店跡） 誠昌堂寫眞材料部 島田利吉 電話一九一九番

父勝次儀豫而病氣之處養生不相叶二十一日午後六時死去致候に付此段謹告仕候

追て葬儀は來る貳十四日午後四時自宅出棺南山本願寺に於て執行可仕候

大正八年拾月貳拾貳日

男 森辰男

親戚總代 藤田國雄 森村太郎

友人總代 和田常市 中村再造 山口太兵衛 松本卯市 古城菅堂 古城梅澤 結貝房之進 秋吉富太郎

再び重態に……明石臺灣總督

糸子ローマンス（下）

二歳にして孤兒となつた
彼女を戀ふて焦れ死んだ學生
師團長の息子から所望

糸子は本名を小牧糸子と呼ばれて明治三十五年に越後の國新發田町に生れた。彼女の父は貞三と云つて舊新發田藩中でも相當な家柄であつたが維新の桑海の變は小牧一家に禍して家族は見る影もなく零落した。のみならず父貞三は家内の紛紜から其

糸子の實の母を離縁し

て了つた。後には親一人子一人の淋しい生活を續けねばならなくなつた。不幸はそれのみに止まらず父貞三は不圖したことから病みついた。そして再び起つ能はずして遂に鬼籍の人となつた。其の時糸子は未だ東西さへも辨へぬ取つて二歳の幼兒であつた。當時の糸子には勿論自分が如何に悲慘な境遇に置かれて居るかも知らなかつたであらう彼女は生れながらにして既に孤獨の境遇に置き去られて居たのであつた。然し

此の可憐な孤兒は或人

に救はれて健かに生立ち、天性の美貌は彼女の生活を異つて世界へと導いて居た。救ひ主と云ふのは誰であらう。それは現に糸子が明星として居る有田洋行會の團長有田榮三郎その人であつた。有田と云ふ人も元は仙臺藩の刀劍係を勤めて居たとか云ふ、それが興行師にまで落ちるには種々の事情もあつたであらう、それは兎も角糸子は

團長を唯一の愛護者と

して七歳の時から懸命に藝を勵み二年目位にはもう立派な曲藝師になり切つて居た、明治三十九年には軍隊慰問の目的で同團一行（[illegible]までは明治聯旭菊一行と呼んで居た）が朝鮮に渡つて來た、その時の統監伊藤公は同團の興行を見物し糸子のいたいけな姿や巧な藝を大變可愛がられたと云ふ、同年から一行は愈々洋行の旅に上つた、前にも書いたやうに支那から印度歐洲と到る處で興行をして廻つた、

勿論糸子も其一行に加

はつて居たが此頃の糸子は藝ごとしては既に圓熟しかけて居たほご上達して居た。その間に彼女は歐洲のいろ〳〵な藝事も覺え込んだであらう。それから幾年かは過ぎた。糸子はもう妙齡の女になつて居た。一昨年であつた同團が高松市で興行したとき中學校の某生徒は彼女の容色に心醉し、毎日〳〵棧敷から彼女の姿を眺めて居たが、一行が次興行として岡山に渡るや此の青年は岡山まで糸子の後を追ひ果ては人を介して結婚まで申込んだが遂に其の望みを得ずして高松に歸つたもの、糸子を戀る

心切なさに堪へ切れず

焦れ死をしたと云ふ哀話もある亦昨年か廣島の某師團長の息子からも想ひを懸けられて結婚を申し込まれたが之も遂に纏ふ結ぶに至らずに終つた。斯うした風に彼女に憧憬る、青年は興行の先々に附纏つて居る。また彼女に切ない戀文を送る者も始終有り勝ちである。現に本紙の讀者の領分などにも糸子の宿所を聞き糺して來た者などもある。糸子よ、惱ましい美さを持つ糸子よ。お前の將來が如何にお前を守育て、行くか、それを知らうとして惱んで居る人も尠くないであらう（完）

寺内伯の容態

廿一日午前九時發表

寺内伯二十一日午前九時發表容態左の如し

二十日夜は精神恍惚として夢中にあるもの、如く又胸中苦悶あり脈搏前日同樣なれど力弱り呼吸又深淺不動なり二十日夜肉汁約二百目アイスクリイム並に牛乳少量を攝取す二十日午後九時の體溫三十六度八分脈搏百二呼吸二十二廿一日午前六時の體溫三十七度四分脈搏百十五呼吸二十八なり

毅雄中尉談

『父は廿日夜來少しく元氣著きたり而して私と兄壽一大佐に向ひ苦しき息の中より『お前達の此處に在るは父の爲に公務を捨て、來て居るので國家に盡す上から見たならば父の病氣を心配せずに速に歸隊するがよい』と言はれたり又廿一日朝肉汁二匙を攝取されたり母は洋館二階に休息され居り別に變りたる事無し云々』尚伯は枕邊に侍せる令息に向ひ『一時死んだ樣な氣がした』と語れりと（東京特電）

吉林巡警の盟休

生活難から

吉林省に於ける官吏の俸給は大洋（正銀）で支給さる、定めであるのに下給官吏の俸給は大洋票で支給さる、ため近時銀價昂騰して票の下落甚だしき一方物價騰貴して其の生活を知らざらの狀態であるから彼等の窮生活を脅かさる、事甚だしく此際現銀を以て支給方を要求してゐるけれど當局は頗る困難の模樣だが已に吉林第二區第三區の

巡警全部

ストライキをなし次第に他區にも波及せんとする形勢にあり之れがために當局者は甚だしく手遲となり當局者は之れが善後策につき苦心をしてゐる（吉林）

帝展の特選推薦

畫、彫刻合せて十六點

帝展特選推薦左の如し（東京特電）

日本畫特選　神泉（飛田周山）燦雨去來（石崎光瑤）朝陽矢ヶ弦月（青衣の女（廣島晃甫）

西洋畫推薦　田邊至、牧野虎雄、大久保作次郎

同特選　初秋（高岡徳七）信濃路（相馬其一）朝鮮服を着たる（熊岡美彦）白蓮樹（安宅安五郎）梨化（清水良雄）水鄕の夕（柚木久太）潮（新井完）凪ぎたる海（大野隆德）

彫刻特選　老坑夫（吉田三郎）

六十名行衞不明

鴨綠江にて戎克轉覆す

山東方面より十九日午後鴨綠江の下流に入港したる盛記公司取扱ひの搭船盛利號の船客約六十名を滿載したる戎克が午後五時頃舊市街支那會館前に差蒐りたる時風浪の爲め戎克覆沒し全部水中に陷りたるも時日に近くて且つ風浪烈しき爲め救助の途無く全部行方不明となりたり同港に墜落したる者は溯流の關係より屍體發見さるゝ者少しと（安東特電）

無い袖は振れぬ

女學校の擴張問題

新入生が街に迷はうと云つて早く何んとかせねば

京城高等女學校擴張に關する問題は豫ての懸案である問題の女學校では目下五百四十人の生徒を收容し現に校舍校地の狹隘に惱まされてゐる從つて若し來年度に於ても擴張が出來ないならば到底多數の

新入生を

收容する事は何れ出來ぬと云ふので關係者は何れも途方に暮れてゐるが右に就いて女學校の當事者は語る『本校の運動場は二百二十坪で生徒數は五百三十八人ですから一坪に約三人と云ふ割合になり全く運動場とは名ばかりです大正七年

既に狹隘

の爲無理をして教室を造つた樣な始末で目下は職員の會議室とか生徒の訓練に要する室とか其他必須な室が殆んど無いので教育が完全に行くか何うかが疑はれる次第です此の上來年度も此の儘現狀維持だとしたら過去の例から推して増加すべき

約五十人

の新入生を如何にすれば好いか、全く當惑せざるを得ません目下高木校長は女學校長會議で東上不在中ですが兎に角是が非でも早く擴張して頂かねば困ります』更に府の當局は語る『物價騰貴の結果一切の仕事を本年度通りとして來年度の學校組合費は五十七萬圓を要し約十萬圓の増加を來すので此上女學校を擴張するとなると如何に

安く見積

つても十餘萬圓の經費を要し學校組合として斯んな譯で女學校問題には迚も手が及びますまい義務教育は府の當然爲すべきものですが中等教育は國費でやるか少くも地方費で各道がやつて吳れるのが至當である此の際

此窮狀を

察して總督府として或ひは道として適當な施設のない限り學校組合としては最早此上負擔し切れない女學校問題は全く解決が困難な然も差迫つた緊急問題で府當局として腐心してゐる所である』

府吏員總出で督勵

三期の戸別割

京城學校組合は京城在住内地人のみの公共團體に係り戸別割の徵收成績は良好なるべき筈なるに官廳又は銀行會社等に奉職の向は概して納期内に納入の好結果を呈しつゝあるも

商工業者

の側に在ては其の成績甚だ振はず其は業務多忙の爲知らず識らずの間に納期を經過する向多きが如し而して滯納の多きは事務進捗に阻害を及ぼす影響尠少ならず依つて

本月納期

に係る第三期戸別割に就ては非常務繰合せを爲して吏員の全力を納稅督勵に注ぐこととし夫々擔當方面を定め二十日より大々的督勵を爲すこととなりたれば市中各員に在ては

此意を諒

とし速かに最寄郵便局所又は府廳內組合金庫に納入を了せられたしと尚二期市街地稅も併せて督勵を爲す由

廳浦檢疫所

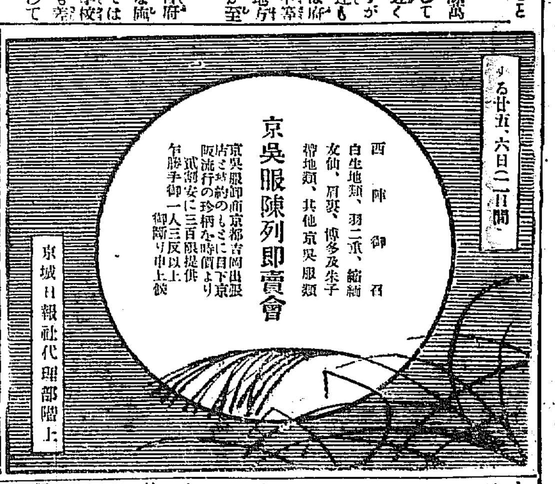
當分存置す

廳浦に於ける虎疫防疫は其後新患者の發生もなく小康を得たるを以て最早檢疫所を設置し置くの必要なきが如きも南鮮各地に於て未だ猖獗を極め終熄の見込立たず何時襲來せんも計り難き狀態に於て當分は現狀の儘に存置する筈にて其撤廢の期は多分來月上旬なるべしと

天然痘蔓延

種痘を受けよ

府內西大門町一丁目十四番地金順伊（八）同光化門通百九十八番地處炳鉉（三）は二十日天然痘に罹り順化院に收容されたるが之れにて府內の天然痘患者は五名に達し蔓延の模樣あれば此際各人は充分の注意を爲すと共に速かに種痘すべしと



緩衝機（投書歡迎）

S子氏に答ふ（下）

櫻井小學校長　河野卓彌

（五）抑々教育とは云ふ迄もなく有史以來の社會的事實であつて生れて死する迄の個人的生命を永遠に持續し發展して止まない社會的生命に還元する作用です。兒童をして漸次『我』に自覺せしめ其人格の擴充及創造を爲さしむる課程で、來る可き時代の健全なる社會國家の一員たるの素養を獲得せしめる事が學校教育の本旨であります。然し乍ら吾々が學校を經營して行くに就ては種々様々の制限があり障害があります共制限障害の根柢は學校（教師兒童）家庭社會の三者でこれ等三者の關係の物心二面を代表するものは經濟問題と思想問題であります、根本の思想問題は常に吾々の頭を惱まし又それに直接ぶつかることによつて吾々はやり其要を見出しますが、然し第二義的な經濟問題は具體的有形的常に吾々の行爲を阻み、吾々の純な動機を鈍らせてしまふのが遺憾です。

（六）若し愛にこの學校家庭社會の關係を良く調和し融合すべき機關があれば學校と言ふ一個の機關は自由に運轉をなすことが出來るのです。從來の三者の融合は確かに割られました、然しそれは精神的方面のみであつて物質的方面の作はなかつた所が近時諸所の學校に於いて保護者會なるものが學校讀者兩者の意見の合致よりして成立することが出來ました。吾が學校も幸に多數の賛成者を得て出現することゝなり吾人が今まで不足に思つた點を或る點まで滿足させてはれることゝ思ひます。私としてはもつと〳〵種々の施設を行つて學校教育の本質に充分合致するやうにしたいのであります。斯かる見地から吾々は出るべき時と思へば如何なる所にでも出たいと思ひます。正當なればどこにでも出たいと思ひます。從來は斯かる態度は教育者らしくないとして默殺されてゐました。然し現今の大勢は既にこの因はれたる因襲の殼を打破つてゐるのです。今になつてこれに逆はんとするならばそれは時代錯誤の謗を蒙つても辯解の餘地がないと思ふのであります。

（七）それから社會民衆と共に流れてはいけないとの御忠告は難有く他山の石頂門の一針として受け自省の資料にしたいと思ひます併し私はあなたに私の學校の內容を見て戴き眞面目に批評心配をして貰ひたいので私、學校では『眞劍』といふ事を第一信條として常に職員も兒童も行動してゐます

（八）次に經費について御心配を煩はしましたが前日の唱歌會費は公費の學藝會費中より支出し足らぬ所は保護者會の補助を仰ぎました。何も御不滿はありますまい。保護者會會則を御覽下さい將又急のために申して置きますが保護者會の會計は會計理事があて總へて處理してゐます。

（九）あなたが經費云々された底には保護者會成立に對する懸念が隱れてゐるやうな氣がします。ピアノを買つたり唱歌會の費用に用されることはあなたにとつて枝葉の問題の樣に思はれます。私はピアノの音に滿足して腹をふらせてゐるのでもありません。然しピアノの價値を相當解してゐるのであります。もしあくまで知りたい聞きたいと思召すならば御了解の行くまではとつくりお話し申します。兎も角私にはあなたの批難の焦點が保護者會成立にあるやうに思はれます。然らば當時何故に默して而られたのでせう。而してはれる所より推察すればあなたは我が校の兒童の保護者の方と思はれます。考へても御覽なさい。家庭のあなた方と學校に於て取つてゐる吾々の方針との間にこれだけの誤解があるではありませんか。あなたのお子さんをよりよく教育するには第一歩としてあなたの誤解を解かねば不可能です。もしあなたが眞實吾々の行爲にあきたらなく考へ不快に思召すならば斯る紙上で手數のかゝる方法をとらるゝよりも直接說明を求められんことを希望して止みません。

本社より優勝旗寄贈

いよく切迫した選手權爭奪庭球戰

時日　廿六日午前十時より
場所　明治町三井物產コート

朝鮮庭球協會主催の庭球の秋季に於ける各優勝戰は九月來殆んど各種の競技に或は二流選手に或は休日毎に盛大に舉行され其大部分は既に終了し愈々一組本位の大選手權爭奪戰とも稱すべき本社の優勝旗戰が殘るゝこととなつた、今秋の各種試合は總て

一團體と

して技倆を競つたものであるが今度のは全鮮に於ける選手權爭奪であり一組としての戰ひだけに面白いものに違いない、本邦では此種の競技は少いが米國などでは盛んに行はれてゐる往年三神選手が米國で覇を稱したのもオールアメリカンの選手權爭奪戰であつた本社は朝鮮庭球界の爲めに貢獻する目的で體育協會と

協議の上

新しく優勝旗を調製して今回相捷を得べき優ある選手に贈る事にした。勿論出場者は一組選手二人丈の事とて如何なる遠隔の地からも出場し得られ一面に於て全鮮の選手權爭奪であるから當日の盛況想ふべしである

華麗を極むる優勝旗

果して何人の手に歸する乎

優勝旗は去月初旬本社編輯部に於て意匠を凝し三越京城支店を經て同東京本店に其調製を命じたから近日中には出來上る筈であるが右は西陣の地色蒼色の臘繻で旭日を織出し中央には『優』の字を金絲を以て刺繡してあれば目も覺むる許り華麗なるのである此榮ある本社の優勝旗は抑も誰の手に落つるか是は興味ある全鮮庭球界の問題であらう京城庭球界有名の選手が攫り得るか地方無名の選手が攫り得るかと云ふ刮目して待たん

競技規定

競技に對する規定は體育協會から左の通り發表された

▲時日　廿六日午前十時より
▲會場　明治町三井物產コート
▲申込期限　十月廿四日迄
▲申込所　京地朝鮮商業銀行內森爲　京城工業專門學校內諸岡源
▲出場資格　選手二名一組とし團體として關係を問はず組合せは各自申合の勝手なり

拇指大の雹

鐵原に降る

鐵原には二十日拇指大の雹降りたるも農作物には被害なしと來客語れり（元山特電）

三人組のピストル強盜

府內に現る

二十日午後九時過ぐる頃京城貫鐵洞二百四十五番地[illegible]方へ洋服姿の三人連の男來り一名は門前の入口に立ち他の二名は室內深く入り來り十月二一發行の獨立新聞を取出し此の新聞を見よと云ひざま一挺の拳銃を擬したるにかかり驚き戶外に飛出し隣家の人を見たる一名は門前に向ひ早くも出で來りしを以て合圖したれば件の男は先に示したる獨立新聞を置きたり何物をも得ずして三名共逃走せり目下犯人嚴探中

南洋探檢講演會

聽衆堂に溢る

福島縣人會主催本社後援の南洋探檢家菅野力夫氏の南洋諸島探險講演會は豫告の如く二十日午後七時より日の出小學校講堂に於て開催されたるが同夜は雨天にも關はらず聽衆は溢るゝの大盛況にて氏は四時間に渡りて快辯を揮ひ同十一時三十分頃閉會せり

狂犬

府內明治町二丁目九十六番地荷水幹三及妻ゆきは十七日午前自宅の飼犬に咬傷を蒙りたるが該犬は小川獸醫の診定に依り狂犬病と確定し直ちに本町署にて撲殺したり

運動界

宮川運動會

宮川小學校運動會は十八日同校運動場に於いて舉行されたが同地官民が學校と聯合したので非常な盛況であつた呼物の宮川市街一周のマラソン競走は猛烈なもので全市湧返るやうな人氣の裡に一等米村政治郎二等李承伯三等朴大甲と決定午後五時散會した

◎倉田遊擊手榮轉　朝鮮銀行野球部の遊擊手として名ありし同行員倉田隆一郎氏は此程朝鮮銀行浦鹽支店詰を命ぜられ來る廿八日京城出發の由なりと

[illegible]本町四丁目三百[illegible]番地古物商金永[illegible]同店に忍び入り[illegible]二十一日[illegible]店舖に忍び入り短靴[illegible]を盜じて目欲しき衣類も[illegible]事局に送られたり

[illegible]元九州角力[illegible]同家の抱妓[illegible]と云ひし者なりき

[illegible]結めに八錢と小戻しに後場散會

急性慢性じんぞう炎にキットきく

佐藤西瓜糖

本劑は西瓜の果肉より水製エキスを製する原理を應用し弊商會獨特の製藥方法に依り西瓜中に含有するアルカロイド樣有効成分を破壞せざる樣化學的に製したるもの、じんぞう炎、腎臟病、水腫病、脚氣、膀胱炎、糖尿病、淋病、消渇に絕對に副作用なく効能極めて顯著なり

定價小壜壹圓、中壜武圓、大壜五圓

本舖　大阪東區瓦町三丁目　佐藤ライト商會

全國各藥店にあり

◎近時同名類似品を販賣せり…するに好商あり佐藤西瓜糖を御買求めの節は必ず御指定あらん事を

肥料進呈　農學士[illegible]

家の基本たる肥料は農家及取次商諸君は本名を記し送料切手十二錢添へ東京本郷新花町日本農會肥料研究所長法學士四元內治先生宛照會あらば公益のため今回一萬人限り國益肥料一袋に有益雜誌を添へ無代進呈すと云ふ

□財產管理事務　□財產整理及清算事務
□不動產鑑定及調査事務
□貴重品保護預り　有價證券重要書類其他貴重品を自宅に置くは危險にて火災盜難の虞れあり當事務所は之等の貴重品等の保管をなし責任を以て安全に保管致します

橋本商事信託事務所

主任　桐本茂[illegible]

京城本町四丁目百十二番地　電話二八二七番

山中商會　大邱府東本町　電話長三五五七番

古本と古樂器買入　京城本町　ウツボ

朝鮮中央鐵道株式會社　大邱府幸町

マホービン各種　京城　熊平支店　振替京城一二一番　電話六二三番

移轉廣告

今回左記の處に移轉致候

京城南大門通り二丁目百十六番地

㋒松前商店京城出張所

電話長二六〇〇番　振替口座京城五三三番　發電略語○ウ又ハ（ウ）　受電略語ケイジヨウ（マツマエ）

色の蜘蛛

江見水蔭　挿畫　近藤紫雲

（三）

『いやいや』と田部谷は打消して、

『待つて呉れ。是から二子の渡舟の方へ出て、玉泉亭へでも行くか。それとも池上へ廻つて暇堀へ行くか、考へ中……さ……待つて呉れ、運轉手。此處迄來る間に百姓屋が一軒有つたのう』

ご葉卷の灰を外套の袖にバラバラ落しながら問掛けた。

『はい、御在ました』と運轉手は答へた。

『彼處の店に枝柿が並べて有つたが、あれが急に食ひたう成つたから、一寸、君、買つて來て呉れんか』

『はい』

答へはしたが運轉手は、自動車以外の用事を命じられるのを甚だ迷惑らしく見えた。

小糸もそれを氣の毒に思つて

『あら、自動車なら直きですけれど、歩いて行けば可成り有りますわ。それよりも此車を戻したら好いでせう』と注意した。

『や、此處では一寸車體を振向けるに困難だらう。それよりも走つて行つて來た方が譯無いよ。運轉手君は、未だ若いから、ランニングは早かりさうだ。マラソン位には出たかも知れんな。サァ君、これで半分買つて、半分は君に使賃だ。歸りがけには柿はんから柿を咬りながら來給へ。其間吾輩は、ゆッくり此處で喫み吸うよ』

たつた一圓紙幣を鼻薬のツモリで運轉手に押し附けて、無理遣りに柿を買ふべく後戻りをさして了つた。

後はいよいよ二人切りと成つた。生憎又人通が無い。尾花の白く連なるのが一入淋しく感じられて、急に寒さをさへ肌に覺ゆるのである。

『ねッ、小糸孃。如何かね。そんなに悪い話ぢやァ無いと思ふのだよ。僕はね、斯う見えてもね、婦人に對しては非常に親切なんでねえ。それァ人が居る前では多少紳士の體面が有るで、絶對權力を有しても居る樣に、威張つて見せるか知れんけれど……誰も居らん相對の機會に於て、悉く婦人に敬意を表すね。今まで關係した婦人が皆それは感服してるのでね。貴郎位、外硬内軟の方は有りません、なんて、全く良掛に媚ら無い親切な方だて、酷く後では喜んで呉れるのでね』

『そんなに貴郎、段々側へ寄つて入らッしやると、貴の臭氣が強いのですから、外だッて本統に耐られませんわ』

『や、失敬々々。然らば貴を捨てる……捨てる前に最少し吸つて、それから捨てる』

『いゝえ、遠くで吸つてゐらッしやるのなら、それが宜しいの……何分……貴を吸ふばかりにして、何にも何有らない方が妾には……』

『おいおい、酷く君は嫌ふぢやア無いか』

『だッて、妾、貴吸う方、嘘を吐く方とは大嫌ひなんですわ』

『未だそんなに疑ぐつてゐるのかい。僕は決して嘘では無いんじ、大眞面目で君を新夫人に迎へ樣とするので。や、其誠意の有る處を能く分る樣に説明するから……立ちながら話すのは屁が甚く成るで、矢張、あの、自動車の中が好いね。さァあの中に腰を掛けて。ね、ゆッくりご僕の親切振を見せやうぢやァ無いか』

『厭ですわ、妾……運轉手の居ない自動車の中なんかへ、唯つた二人で入れますものか』

『併し西洋では、それが流行るご』

『此處は日本ですわ』

『でも、君は西洋料理の女給仕ぢやァないか。家庭は家庭で、職業は職業さ。チップはいくらでも奮發するよ。いや、僕の財産百二十三萬圓全部を提供しても好いんだよ。好い加減の處で妥協に應じ給へ』

『何んといふ貴郎は卑猥な方なんでせう。妾は、全く普通の女給仕では有りませんの』

『だから猶更吾輩は涎が乾くんだよ』

『今、柿を買つて來るでは有りませんか。それまで此處で待つてゐらッしやい』

『逃かるか知らね。柿の初ちぎり、ぞか云つたね。あれは好い句だよ。はッはッはッ。まァ兎に角自動車へ─自動車へ─』

暴力で以て田部谷は小糸を自動車内に連れて行かうとした。

極力それを小糸は拒んだ。

尾花に絡む薔薇の實を小鳥は無慘に啄ばんでゐる。

畑へ降りた鳥の群が、賑な啼き方をして地を騒ぎつゝある。

寂れたる田舍道に不調和な自動車が横たはつてゐるだけで、何方からも未だ人影は見えぬ。

人蔘キャラメルは　富士製菓株式會社　ミルクチョコレート

日報歌壇

蒼白い月光

脇町　潤一（京城）

×

吹かしては又吹かしみる煙草この輪
やはり一人は淋しいものか

×

なやみもと限は大空を跡つてゐる

×

思へば一人しいものだ

×

手をお貸し其手をお貸し
お前には─あの蟲の音がきこゆないのか

×

歌を知らぬ奴ほど哀れなものはないと
皆で思うた─今もさうだが

×

何と云ふ荘嚴な落日だらう。
お前はいつまでも─さうだ黙つてゐるがいゝ。

×

こんな夜は
せめて酒でも飲むこさだ
樹をなぶる風はきゝに堪へない。

×

四角八角多角形
いろいろな曲線
そこに描く幻の顏─。

×

獨り居の夜の長いこさ。
接吻の後の淡い疲れよ
やゝにして

×

忘れまい─忘れるものか
唇の感觸
そして月の消えつたら！

×

月が青い空を仰いだ

×

たつた一度でいい─
死ぬほどの戀がして見たい
─あゝ又星が流れる

我等の俳句

披柳

陸隊兵バスケツトを買ひ一人
一人の古里の父母
秋夜の總瓶に口つけてひりさ思はるゝなり
ダリアにふるゝ手のふるへて熱の出るころ
秋雨遠き音より降りつゞきて夜明けじ
皺ずれに日が照れば蕎麥は實になる
歯科醫がアルコホルランプの秋風を云ふ
様の日南へ蔓仕舞の南瓜が並ばる
稻の穗にしとしと落つる雨の遠明りする
霜にまのない甘藷の莖のもごかしきかな

○　千可良

十月岐阜團扇が出て蠅追ふ音あり
秋眞つ鴎角砂糖に蠅の押合へる
濫褸吊らるゝ南向のカンドル座敷なのだ

新刊紹介

○中風病者の福音　兵庫縣明石中町町會議員加古忠兵衛氏の家庭は不幸にして代々中風病に襲はれ祖父實父實母伯父四人相踵いで同病のために沒したるを嘆き多年苦心の結果之れが治療藥の研究に沒頭して終に一秘藥を發見し多數同病者に公表頒布せしに何れも其卓効を感じ全快禮状を寄せ來る人夥多あるより汎く一般に其秘藥を頒布する由

▲鍊膽錄（中村健太郎著）此の書は悟道の眞諦を趣味深き物語によりて説きたる者なり古今の英雄豪傑と稱せらるゝ者必ずしも生れ乍らにして膽力機智に富みたるに非ず常人に人知れず非凡の修養と工夫を積みて精神の鍛錬をなし偶々大事に處すれば初めて平素の修養により悠然として機略を縱横にし得たるこゝは此の書に面白く記述せられたり總ふり假名つきにて何人も讀んで直ちに學び得べく行ひ得べき平民的精神修養書なり因に仁林雄仙硏伯抑逸の繪挿十葉は何れも趣味紙背に溢る（一冊四十錢京城日報社代理部）

▲乘りもの（二の三）自動車の初め飛行機其他種々の乘物に關する苦論、研究、感想、紀行、消息等趣味ある記事を多數に掲ぐ（三十錢、東京赤坂溜池三〇龍洋社）

▲金の船（一の一）島崎藤村、有島生馬兩氏監修の清新にして優雅なる童話を集めたる雜誌なり（廿錢、東京麹町區飯田町六の二五キンノツノ社）

▲最新緬羊飼育談（非司左男治著）有利なる緬羊の飼育法を詳細に説明したるもの専門家は勿論遊利を求めんとする人は是非とも此の書を見るべき必要あらん（一圓二十錢東京代々木一七八岩本農園）

▲京城電車係殿　此頃乘車賃が五錢になつたのは有がたいが何故今一層勉強して乘つた所から貳區目迄を五錢にしたら如何です（經財生）▲乘兒あり黄金町三丁目東洞附近、八日前より内地人の子供（十才）食事衣類は附近の人々に惠まれ夜は軒下等にて宿り居る子守役になりさして保世話してやる方はありませぬか子供は兩親さもなきものなり（同情生）▲京日御愛讀の諸姉私は子供を亡くなしまして毎日淋しく日を送つて居りますから左樣な子供を保護る御方はありませんか私の一番好きな御縫物なさせて下されば定めてたのしい一日を送るせう失禮ですが御住所を御知らせ下さいまし御伺ひいたします（愛女）▲予頓悩女君へ申す小生は釜山西町四丁目三十八番地の八に居住する十八の妹に當年さつて丑歳の男兒あり御事情あり御所望ならば差し上げても好き申す一應拜見いたしたく及ばずながら御相談申上てみたし（同情生）▲京城市内の各學校殊に中學校や女學校では近來苦學者が殖えたそしてですが物價騰貴の爲したる數育上の大問題だと思ひます。記者樣御調べになつて紙上で發表して當局者の注意を促して下さい（愛國氏）▲十二日差立たさいふ松茸の小包郵便物是は今度の御祭に必要の品で昨夜したのであつた、然るに十七日の夕方に至つても來ぬ止むを得ず郵便局に行て調べて貰つたが十二日十三日十四日廣島驛にはそんな者はないと言はれた所が十八日の夕方に到着した、現物はすでに腐敗して居た、價は五六圓のものであるが廣島で遅れたのか京城で停滞したのかしらぬが何せよ其間七日間である、無論其償の責はあるであらうが配達人は中々甘ひ事を言つて置て行かれた、斯うした迷惑をせしめられた人は世に間々あつたであらう、文明の交通機關も何さかもう少し機敏の働は出來ぬ者であらうか（甚だ迷惑生）

將棋新手合（完）

△京城　溝呂木光治（六段）
飛落▲釜山　岡田（二段）

（京城府黄金町九丁目溝呂木將棋所）

図は前號までの局面

△溝呂木氏持駒　金銀歩

△五三銀（ワ）▲同金△同桂ナル▲同玉△六五金▲五六桂（カ）△同金▲四七銀△同玉▲三五桂ヘ三六玉▲四七角△二六玉△二五玉銀△一七玉▲二六角△一八玉▲五八飛ナル△三八桂▲二七桂ナル△同玉▲三六角ナル△同歩▲四七龍玉△二八玉▲三七龍上△二九玉▲二七龍玉迄にて岡田氏勝

溝呂木六段講評

（ワ）五三銀は大悪手にして誤算なり此處四一桂なる、同玉、六三歩なるにて敵防禦に苦しまん

（カ）五六桂以下二拾五手能く攻めたり

總評　本局は最初下手方五二金左を無筋の力指なりし故寧ろ上手方指良き局面となりしも九一角なるの悪手の爲めに形勢一變し守勢一方となりしに下手方中盤戰に三五桂さ打つ可きを五五桂さ打ちし爲め面白き局面となりしも終盤五三銀打ちの誤算の爲め遂に敗れたるは遺憾なり

産科
婦人科
京城壽町電二一〇一
二宮醫院
醫學士　二宮亮吉

責任

本劑は如何なる難症も當部規定の期間服藥後は何等手數を要せず醫療部にて全治に至る迄無代を送藥す斯く重き責任を負ふ遠方の方は無代の責任を負ふ薬は世界廣しさ雖も曾てなし各位安心服藥せられよ、其効能に付ては紙上如何に自讚するも普通賣藥さ同一視せらるゝ人あるは免れざる處なり故に各地より出なす體驗の一例を舉けて以て各位の判斷に任すむこせり

第一書信（原文の儘）

前略願は私事本年廿歳ですが今た……ふれた事はありませんが十七歳の八月より腰部が大變痛み十八歳の節は一時歩が出來なくなり同年九月歩行出來なく非常に困り下半身しびれ十九歳四月より腰間に大なるでき物を生じ化膿し遂に口開き濃汁出でまして御座りますが（中略）下の脂少しづゝ出て居ります然るに過日御社の如神丸服用大變具合良く本藥にて全快するかと思へ私のは生れつきの病故にて毛髪は脱落し顔面には變てこな瘢痕の絶え間無く既に全身病となつて居る（中略）先は御禮まで御願申上候

七月廿二日　北海道　某

醫士曰く

香山製薬合社醫療部御中手紙に依る犧牲者の憐れなる…

第二書信（原文の儘）

余程難症と思はる

拜啓過日の如神丸服用仕候結果は大いに良く今では眞身にて六聞餘を離れし外便所に自由に通はれる樣に相成誠に有難く御禮申上候今迄では常に頭痛し居しが嘘の如く相成右の手くびに奇態な腫れ物出來て居りしが穴生ぜしが穴は治癒せず膿少しづゝ出ます骨の位置が進てる樣です腰部及び腿部の傷は稍くなれ股が餘程自由に動く樣に相成りました今月一日より肛門の方も合せて居ります

九月十四日

醫士曰く

斯く疾期間にして根治しさせたる效果の偉大なる事實に驚く無比の外なし世界にかて最も權威ある藥治中内科者も概ね研究を遂げ近く如神丸の效力を學理的に研究し一月も速かに全治せしむるや大に

第三書信（原文の儘）

八月十二日

動かぬものが動き出たのは確かに如神丸の偉効を認め得ると共に今後迄が無理し得るか何うか

醫士曰く

治療藥
毒
梅
豫防藥
如神丸
醫士も驚く効く
患者は泣いて喜ぶ

【説明書無代送呈】

効能
梅毒、痳病、横痃、下疳、小兒頭瘡、胎毒其他皮膚病一切、及梅毒性より來れる淋病、消渇、便閉、關節炎、痔疾、腦病、知覺異常に半週間を用ひ梅毒の傳染を一ヶ月間豫防するの効力あり

の出口へ乳くび形の痛いものが出來直ちに奇態貼附せしに五日ほか前治癒しました顔面の粟位の發疹は全部消えたので便通なく乾燥下剤を用ひ一日二回づゝ通じます今迄では骨と皮ばかりなりしが大分肉が附きましたが筋がしつかりのびないのさ内股わきの下右の肘等の痛みがぐりぐりしたものが治癒しません就ては御指示の通り藥を無代送藥御願ひ申度寸之の病氣（中略）私は左の手にて文字が書けぬので眞に乱筆ですが御免下され度候　某

奇能膏を大二個分一個さ如神丸送料共廿三錢送金致しましたにより此度の試藥は無代送藥及び送料共

○梅毒有無診定
梅毒淋病專門
婦人皮膚科
○診察無料

香山製薬合資會社醫療部

（招魂社除幕前場下車大極圖書館そば）東京麹町區上六番町四拾六番地
電話九段三三二番
診察時間　晝間往診夜間宅診

外用
奇能膏
は治癒一層速なり時是非御使用を望む

効能
ひび、あかぎれ、しもやけ、やけど、よこね、ひよう、そう、はいごく等によし

定價　小　十錢　中　三十錢　大　五十錢　送料貳錢

試用八十錢豫防藥（一ヶ月分）壹圓
一週間一圓五十錢　送料内地拾五錢
二週間四圓三十錢　共他四十五錢
三週間…

東京麹町區上六番町四十六
香山製藥合資會社製藥部
振替東京　電話九段三三二番

營業品項目

一、アスベスト板其他
一、アスベスト綵石綿加工品各種

群山港錦町十二番地
朝鮮石綿礦業所

礦山所在
京畿道楊平郡雪岳面
同忠清北道洪城郡廣川面
同黄海道青陽郡飛鳳面

疳と蟲氣を治し
育兒必要
保壽圓

効能
おそれなき、氣みじか、癇
乳あまし、ねあせ、氣ふさぎ
又通ぜず、よだれ
眼くだり、乳ほき
色あをじろく、手足やせ
又進ます、たべものすゝみ
好むなぞ、かべ土せんこを
小兒の諸病に最良劑

ウサギ印
商標注意

（假 拾錢、廿錢、五拾錢、壹圓）

本舗　大阪市堂島元蜆橋　高橋盛大堂本店
同心齋橋筋博勞町　高橋盛大堂分店
發賣　東京市神田柳町　高橋盛大堂出張所
●到る處の藥店にて販賣す

本舗　大學白粉本店　矢野芳香園

鏡を見る毎に
妾の嬉しさ……全く
美乳の賜！

以前は鏡を見るのが厭でした、だつて妾は性來の色黒で迚も人様と肩を並べて歩かれた柄ではなかつたのですもの、ですが今度日本に初めて出來た評判の美乳を使ひ出してから日一日と目立つて而も生地から色が白く美しくなり今では鏡見る度の微笑さへ浮ぶ如になりました、美乳の効果には驚かずに居られません。それから美乳で整つた唇の上へいざ外出といふ時には……『純白美乳』を必ず塗けてゐるますが是がまた一滴ですぐ見違へる程の白さ美さ、將た。嬉さ……。

家庭では……朝夕……美乳！
外出の時……一滴……純白美乳！

京城明治町二丁目江戸川横（電話六三二番）
入院隨意
森内科小兒科病院
醫學士　森定吉

分析料
百圓進呈

◉あらゆる治療をおすむ効ふき患者は鬼に角一度來談あれ

偽物あり
にせ物あり
製を買ふ販あれ

有田ドラッグ
（長電話二八三番）
京城本町二丁目電車通
有田藥湯本部

龍山練兵場前
釜山大廳町二丁目
元山本町三丁目
平壤瀬町十二番地
仁川宮町二丁目
大邱弓町停車場前
鎭南浦三和町五五
開城南本町二八九
晉州大安洞榮町
大連岩代町
（全國の都市に支店あり）

大阪心齋橋筋本町　有田ドラッグ

有田
りん病
ばい毒
請合藥

◉厭病藥生藥は治厭剤とし梅毒藥王藥は駆梅内服藥とし於藥學上最有効と確定し醫科大學院等にて當局配劑せる高貴藥なるを保證す若し前述の證言に違へる事を發見せる時は

鮮滿無數の特約店に販賣す

クダリはらによし

尼崎汽船出帆

群山木浦下ノ關大阪行
○赤城丸　十月　日午後四時
一心丸　十月　日午後四時
神代丸　十月　日午後四時
秀吉丸　十月　日午後四時
君が代丸　十月　日午後四時
大有丸　十月　日後四時
○印客船二等…
○仁川海岸行二丁目電話五四番　高杉回漕店

共同汽船出帆

波利仁川出帆
▲奏皇島行
第二共同九十月　日正午
▲青島直行
第一共同丸十月廿八日午後
六、大連直行
第三共同丸十月廿三日正午
朝鮮鐵道主要驛にて青島通し…大連にて青島行定期船…
阿波共同汽船株式會社

仁川代理店　本町四丁目　野口…
元山代理店　濱田回…
京城取次店　黄金町…河村運…

日本郵船仁出帆

大連、太沽、牛莊行
滿州丸　十一月廿七日
高砂丸　十一月廿七日
三河丸　十一月廿四日
滿州丸は…
仁川港町二丁目電話…

五光商會汽船出帆廣告

◎元山、西湖、城津、清津…
第三新昌丸　十月　日
◎門司、宇品、神戸、大阪…
第三新昌丸　十月　日
釜山　大池回漕部
元山　田口回漕部

朝鮮郵船出帆

大阪商船等の…（詳細は本社…）

▲城津行…　京畿丸　十月　日
▲雄基行…　越後丸　十月　日
▲浦汐行…　平安丸　十月　日
▲雄基行斷…　越後丸　十月　日
雄基丸　十月　日
京畿丸　十月　日
▲元山縦貫…　鏡城丸　十月　日
▲大阪行…　越後丸　十月　日
▲雄門行…　京畿丸　十月　日
平壤丸　十月　日
▲金剛山遊覧便…　鏡城丸　十月　日
長崎行…　仁川丸　十月　日
▲鬱陵島行…
▲濟州島行…　昌平丸　月　日
▲果廻…　公州丸　月　日
▲釜山鎭水線…　順天丸　月　日
▲木浦…　慶興丸　月　日
▲多島海行…　晉州丸　月　日
▲海州行…　天曉丸　月　日
▲鎭南浦行…　江原丸　月　日
▲大連青島行…
○朝鮮郵船株式會社
本社　京城南大門通　電話…
釜山佐藤町　元山海岸通
仁川代理店　木浦代理店
京城南大門通…
其他各營業地…

歐露形勢重大

露國の援助要求……

米亞細亞艦隊